

資料3-2

三重県人口ビジョン(仮称)

資料編【市町別・地域別データ集】(案)

平成27年6月

三重県

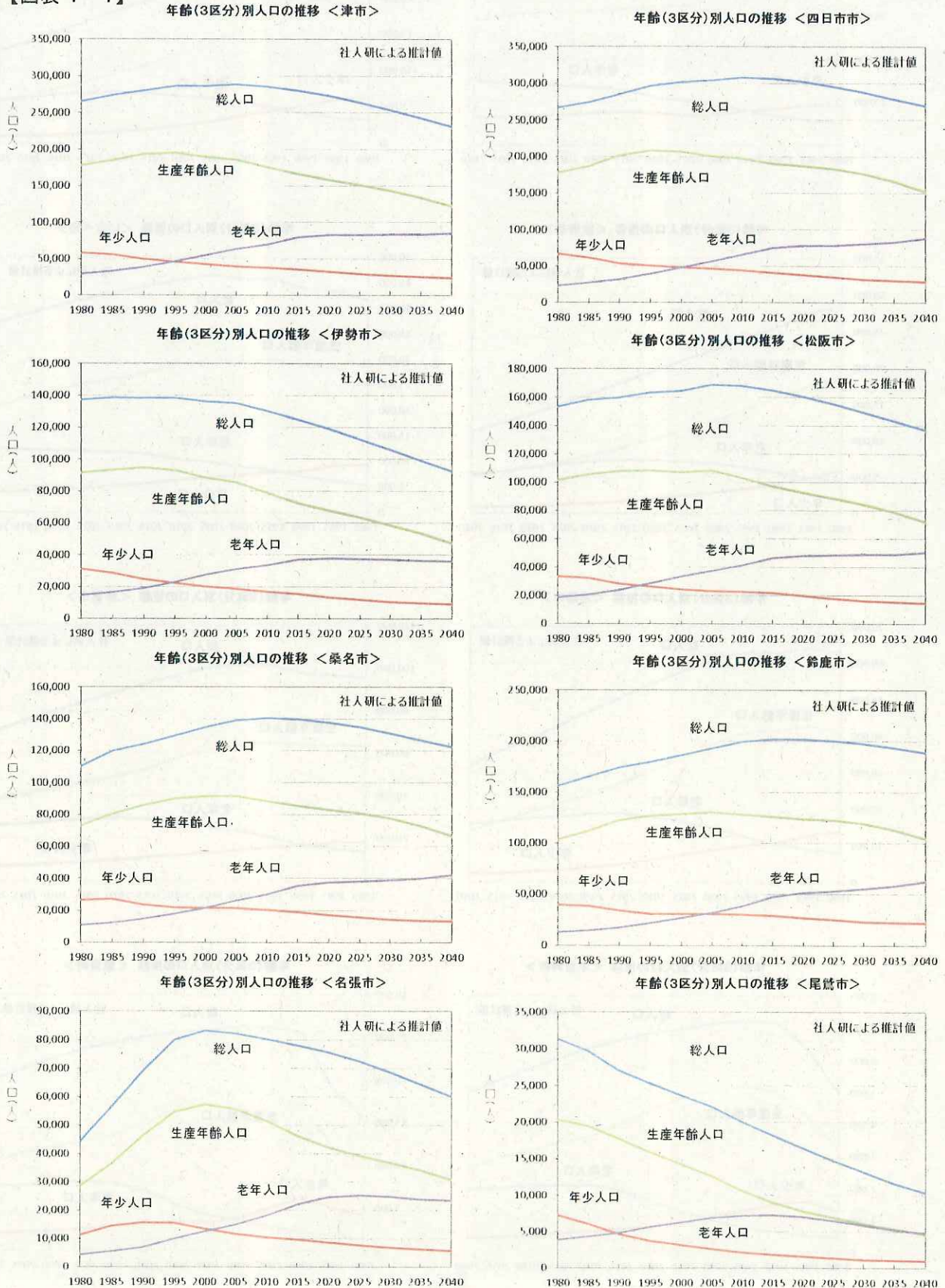
目次

1. 市町別総人口及び年齢3区分別人口の推移.....	1
2. 5地域及び2地域別総人口及び年齢3区分別人口の推移.....	5
3. 市町別人口減少段階.....	7
4. 市町別人口増減状況.....	10
5. 市町別将来人口のベース推計.....	12
6. 5地域及び2地域別将来人口のベース推計.....	22
7. 市町別老年人口比率の長期推計.....	25
8. 5地域及び2地域別老年人口比率の長期推計.....	35
9. 市町別将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度.....	38
10. 市町別5年前からの転入数・転出数・転入出超過数.....	40
(1) 5年前からの転入数.....	40
(2) 5年前からの転出数.....	41
(3) 5年前からの転入出数.....	43
11. 市町別年齢階級別の人口移動の状況.....	46
12. 5地域及び2地域別年齢階級別の人口移動の状況.....	61
13. 市町別地域ブロック・県内圏域別の人口移動の状況.....	65
14. 5地域及び2地域別地域ブロック・県内圏域別の人口移動の状況.....	80
15. 通勤者からみる県内市町間の関係.....	84
(1) 県外との関係について.....	84
(2) 他の市町との関係について.....	84

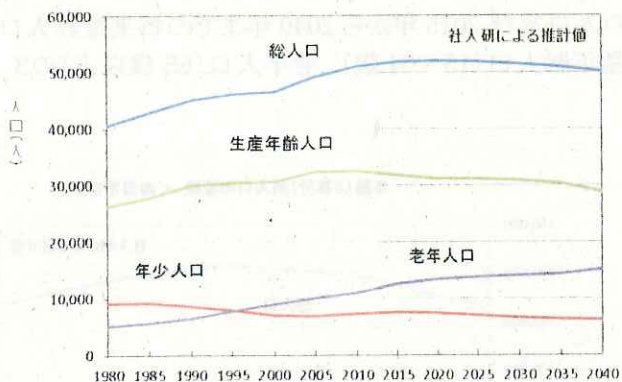
1. 市町別総人口及び年齢3区分別人口の推移

○ 市町別における1980年から2010年までの人口及び2015年から2040年までの将来推計人口の推移について、年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分で見たのが次のグラフです。

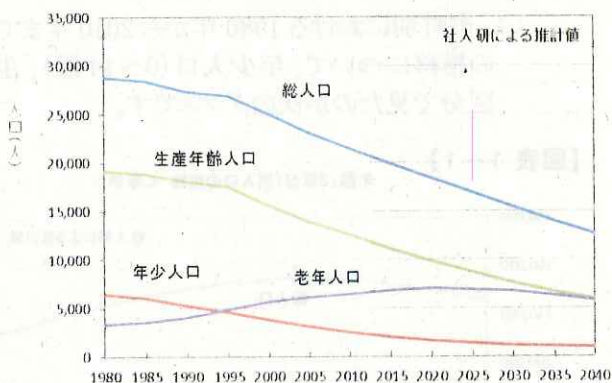
【図表 1-1】



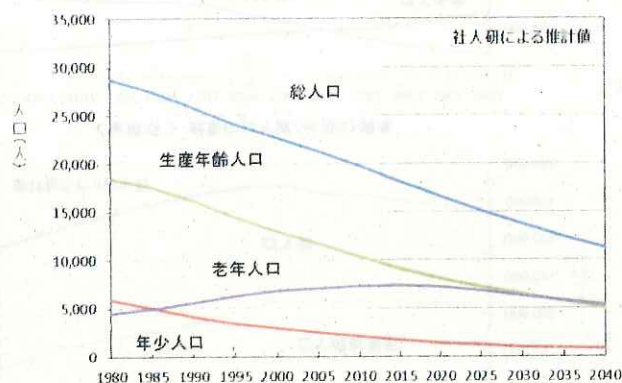
年齢(3区分)別人口の推移 <亀山市>



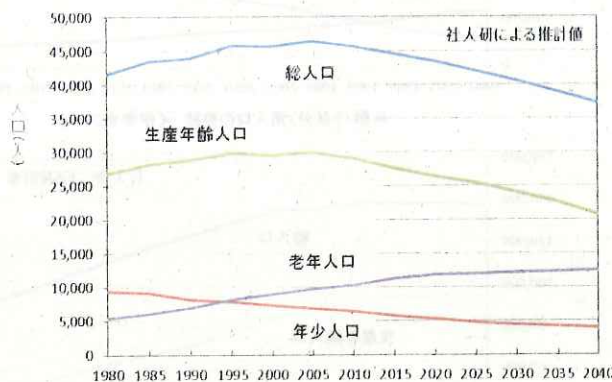
年齢(3区分)別人口の推移 <鳥羽市>



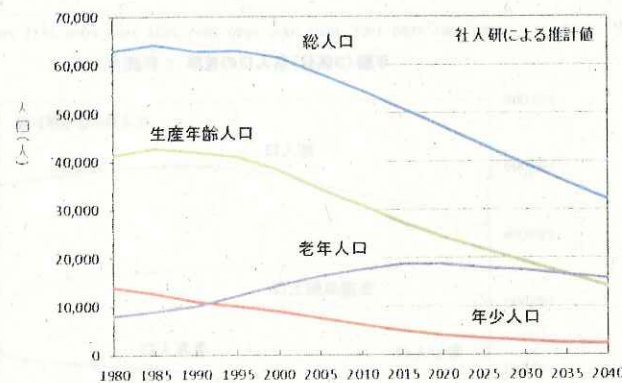
年齢(3区分)別人口の推移 <熊野市>



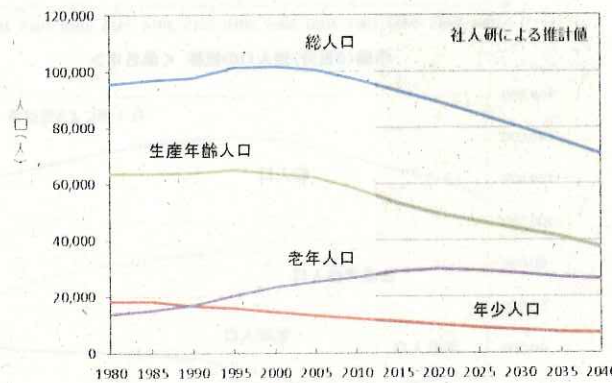
年齢(3区分)別人口の推移 <いなべ市>



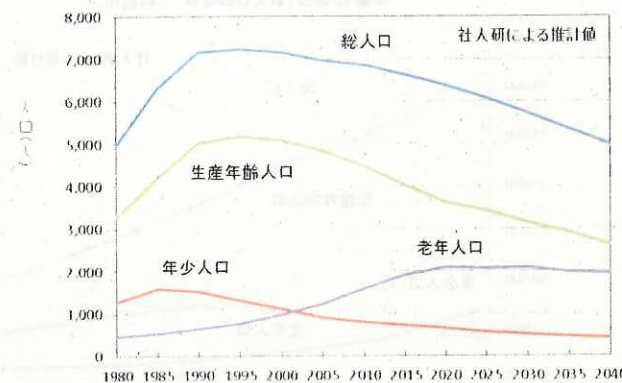
年齢(3区分)別人口の推移 <志摩市>



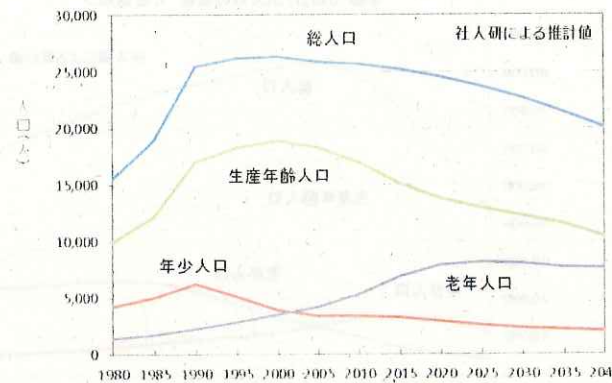
年齢(3区分)別人口の推移 <伊賀市>



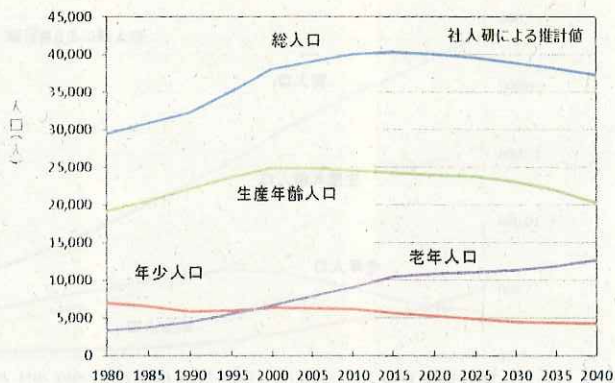
年齢(3区分)別人口の推移 <木曾岬町>



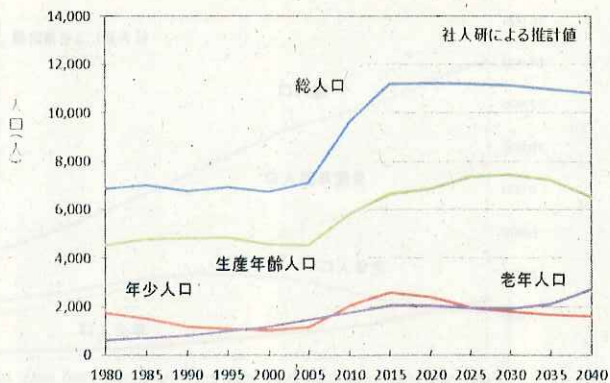
年齢(3区分)別人口の推移 <東員町>



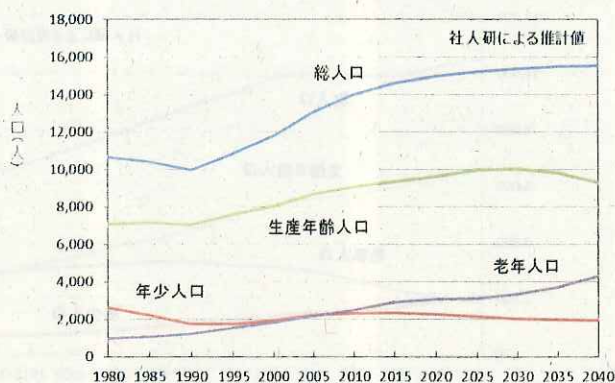
年齢(3区分)別人口の推移 <菟野町>



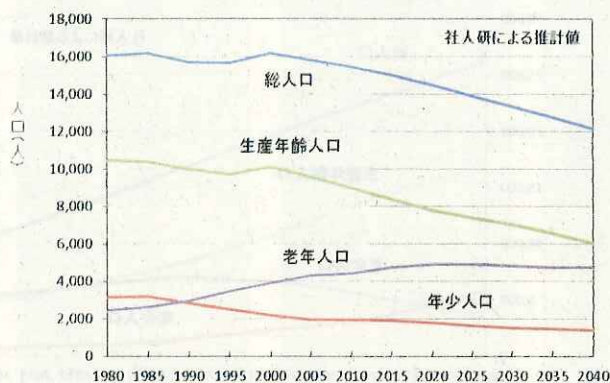
年齢(3区分)別人口の推移 <朝日町>



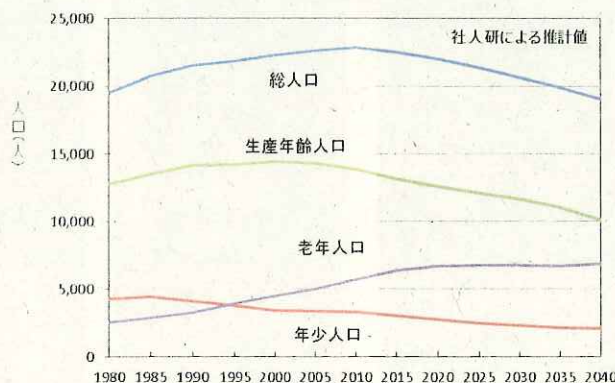
年齢(3区分)別人口の推移 <川越町>



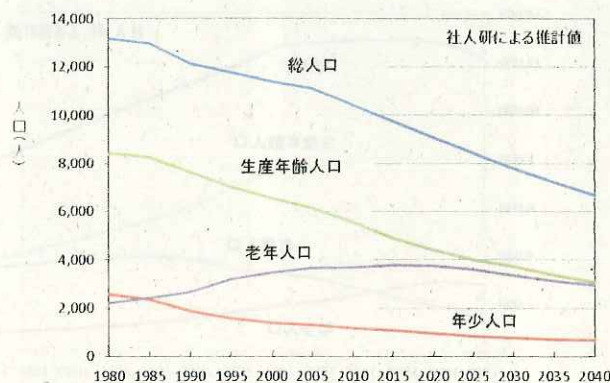
年齢(3区分)別人口の推移 <多気町>



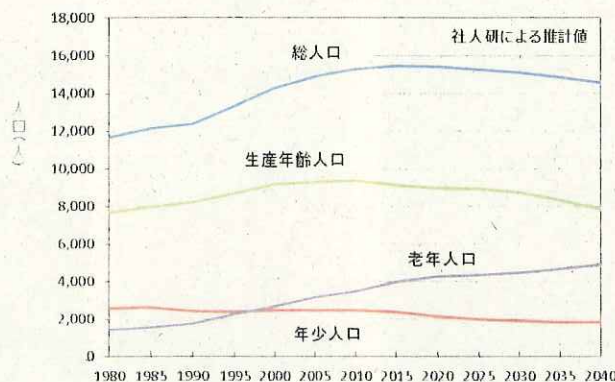
年齢(3区分)別人口の推移 <明和町>



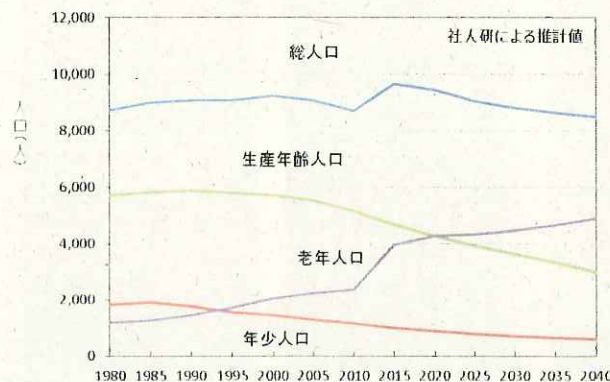
年齢(3区分)別人口の推移 <大台町>



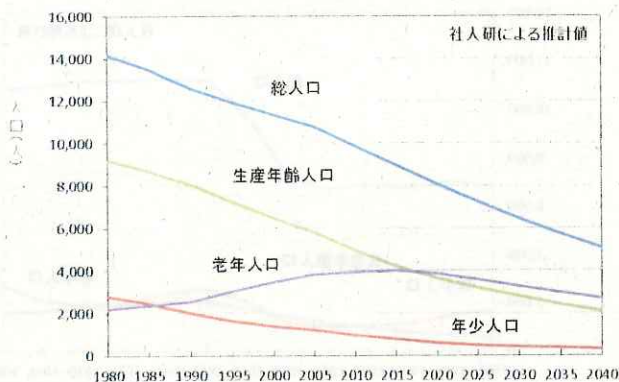
年齢(3区分)別人口の推移 <玉城町>



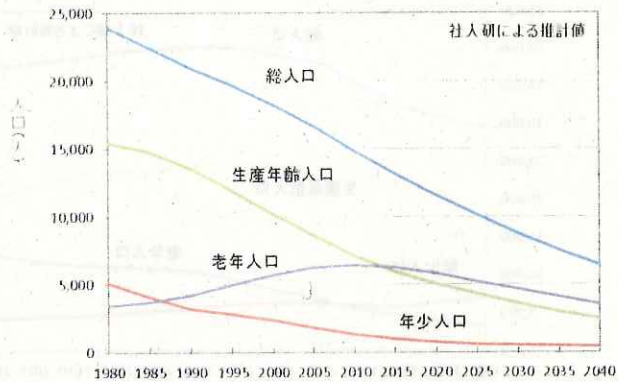
年齢(3区分)別人口の推移 <度会町>



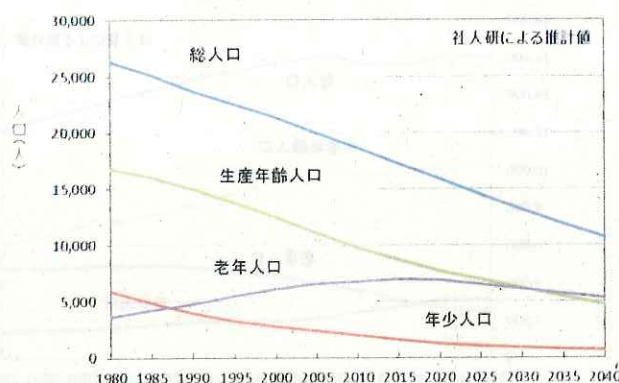
年齢(3区分)別人口の推移 <大紀町>



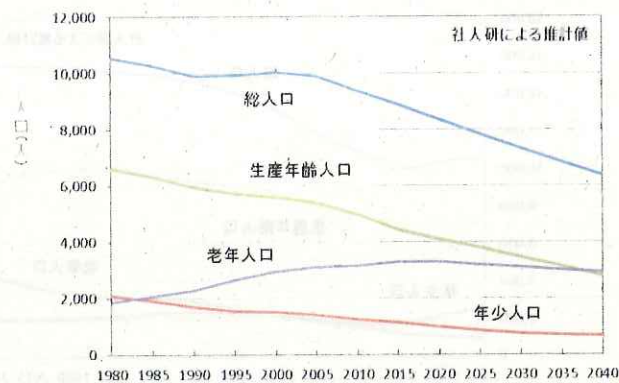
年齢(3区分)別人口の推移 <南伊勢町>



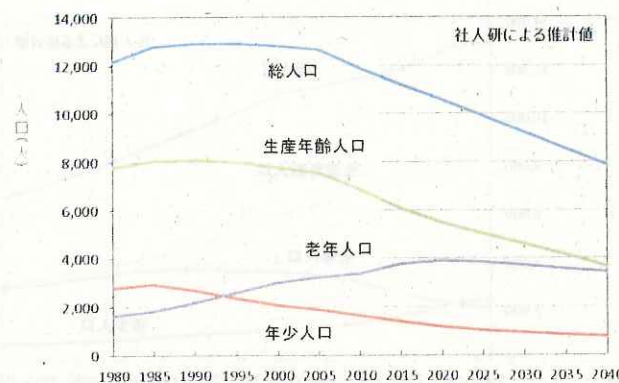
年齢(3区分)別人口の推移 <紀北町>



年齢(3区分)別人口の推移 <御浜町>



年齢(3区分)別人口の推移 <紀宝町>



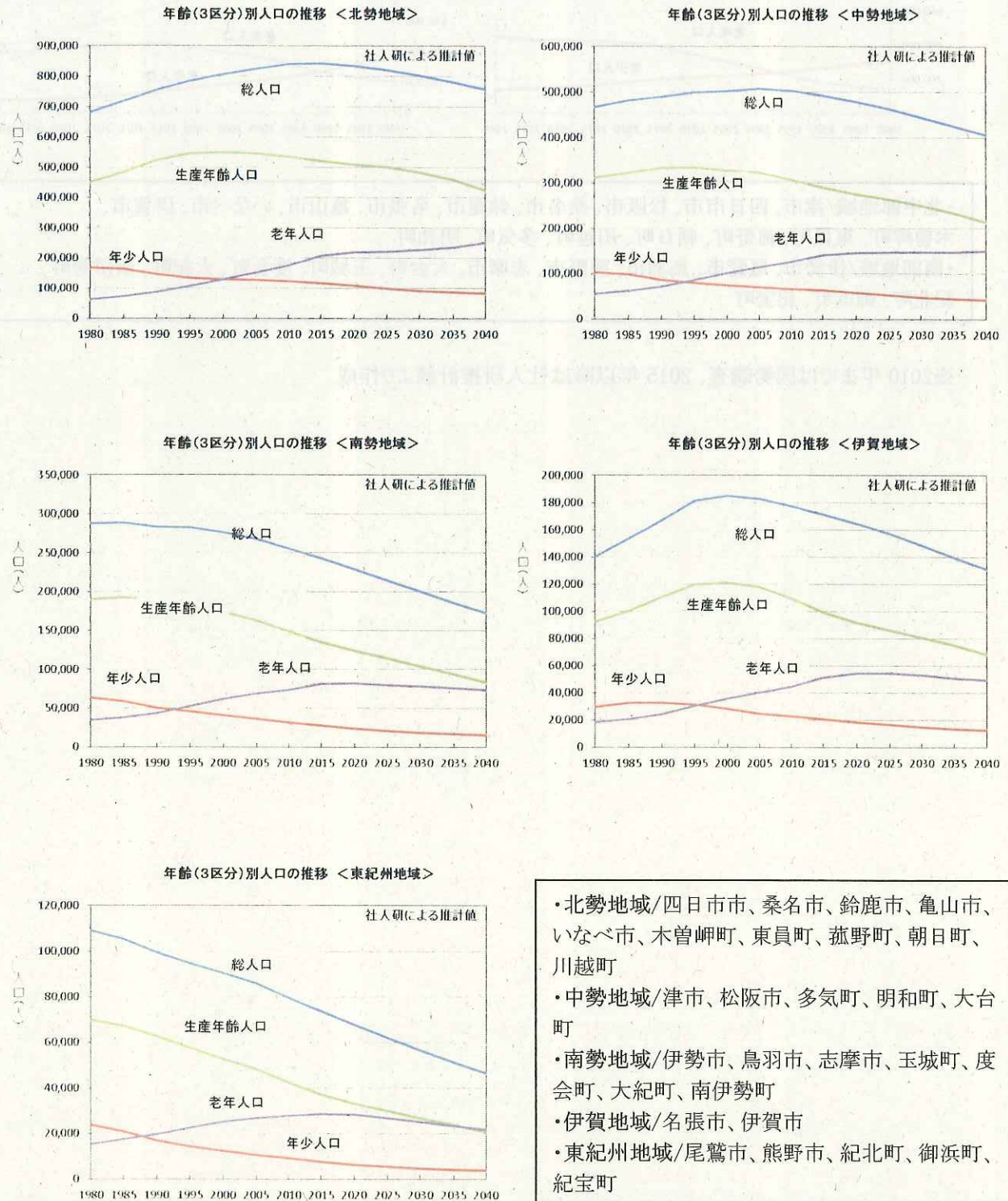
※2010年までは国勢調査、2015年以降は社人研推計値より作成

2. 5地域及び2地域別総人口及び年齢3区分別人口の推移

○ 5地域別(北勢、中勢、南勢、伊賀、東紀州)及び2地域別(北中部、南部)における1980年から2010年までの人口及び2015年から2040年までの将来推計人口の推移について、年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分で見たのが次のグラフです。

【図表 2-1】

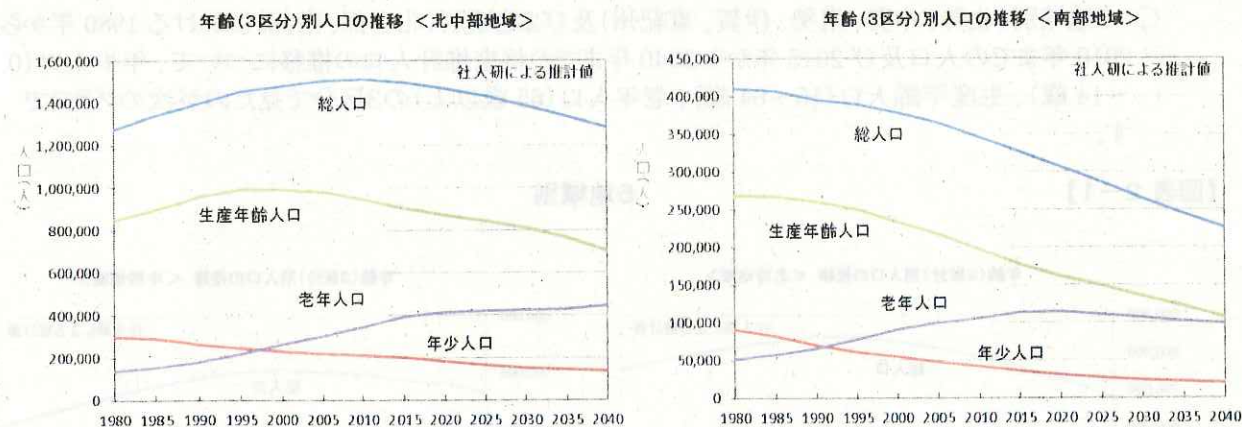
5地域別



※2010年までは国勢調査、2015年以降は社人研推計値より作成

【図表 2-2】

2地域別



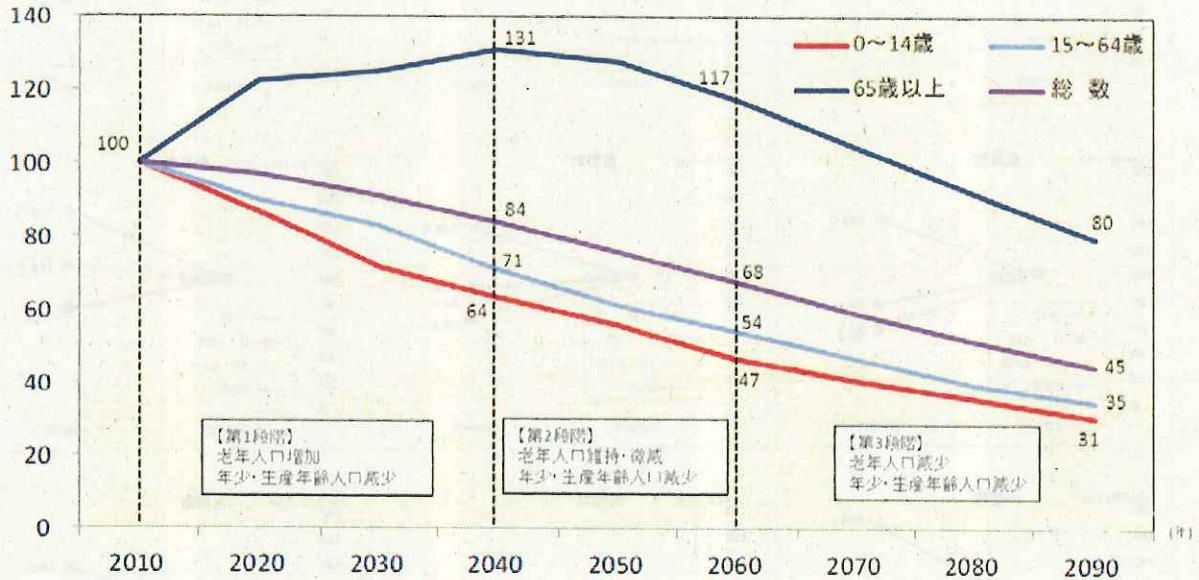
- ・北中部地域/津市、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、いなべ市、伊賀市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町
- ・南部地域/伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町

※2010年までは国勢調査、2015年以降は社人研推計値より作成

3. 市町別人口減少段階

○ 「人口減少段階」は、一般的に、「第1段階: 老年人口の増加(総人口の減少)」「第2段階: 老年人口の維持・微減」「第3段階: 老年人口の減少」の3つの段階を経て進行するとされています。

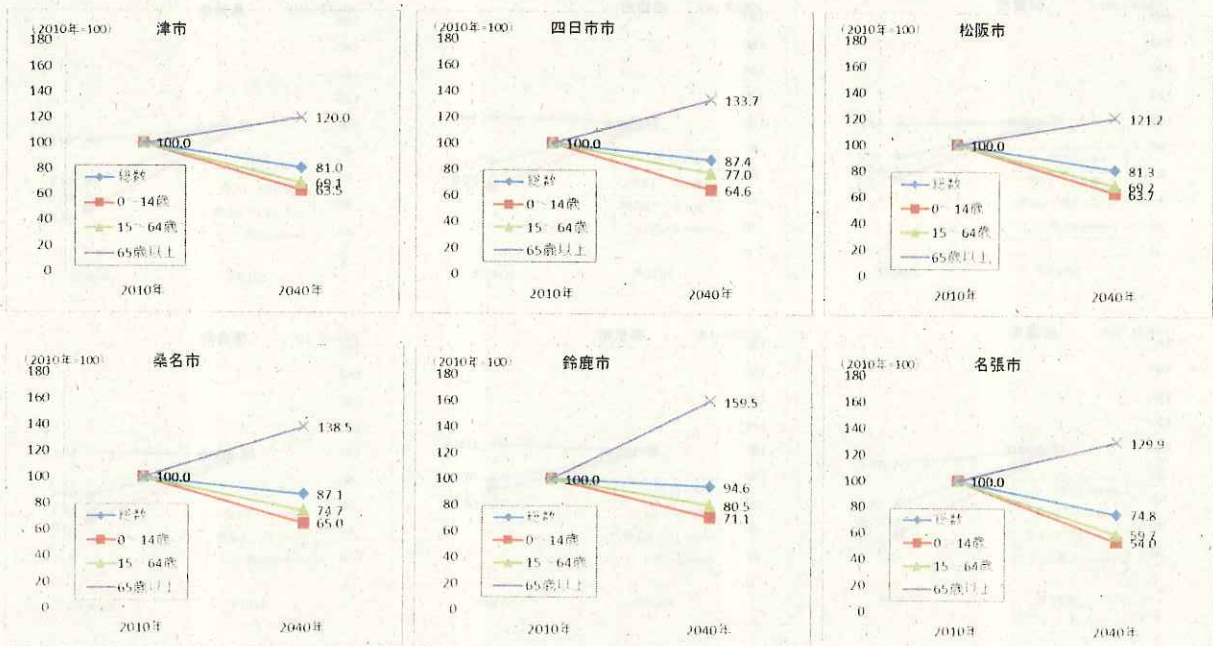
【図表 3-1】 人口の減少段階(全国)

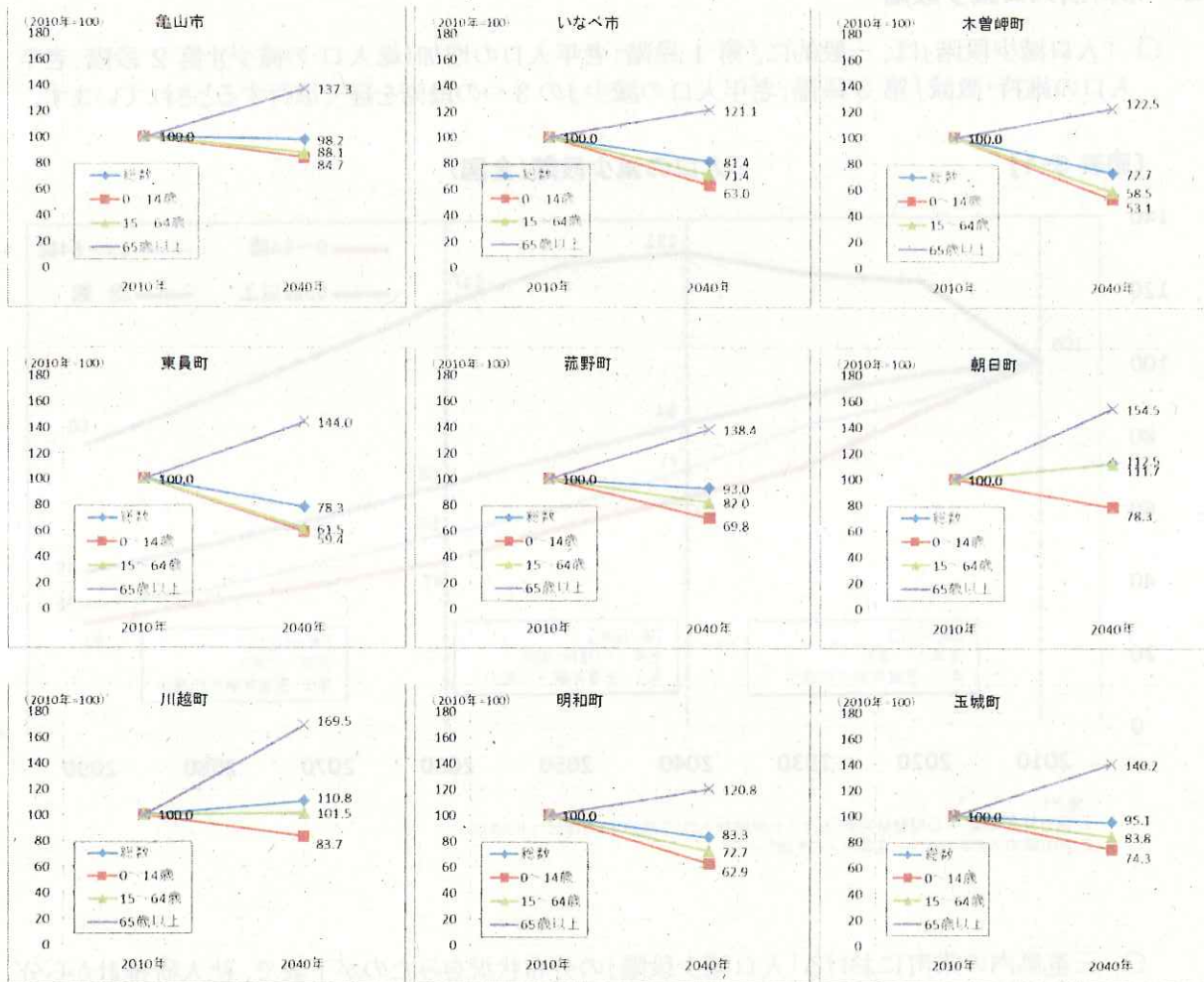


(備考)
 1. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」より作成
 2. 2010年の人口を100とし、各年の人口を指数化した。

○ 三重県内の市町における「人口減少段階」の分布状況をみたのが下表で、社人研推計から分類したものです。

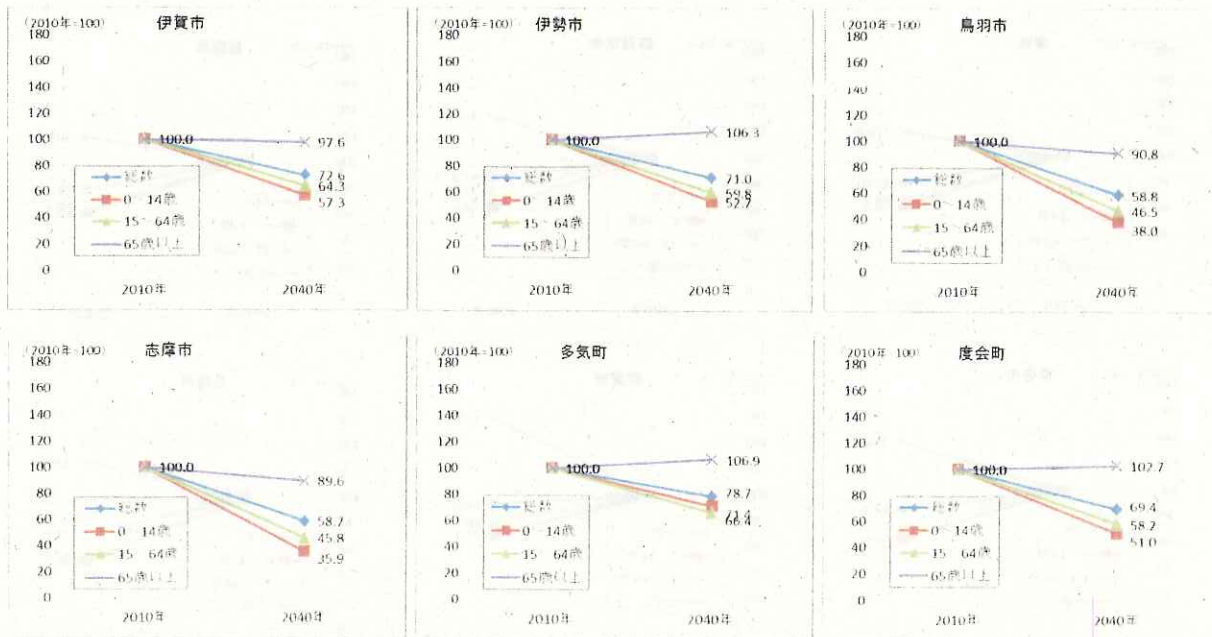
【図表 3-2】 第1段階

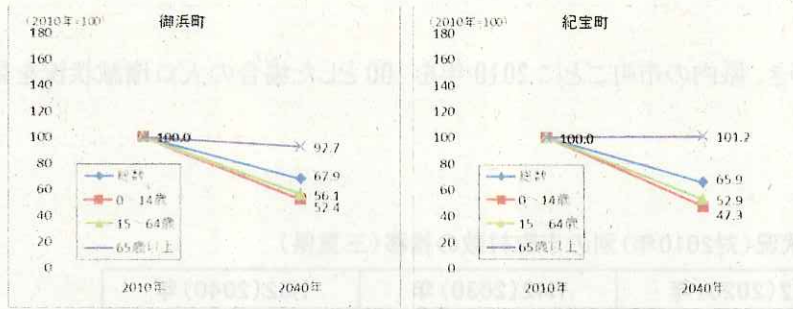




【図表 3-3】

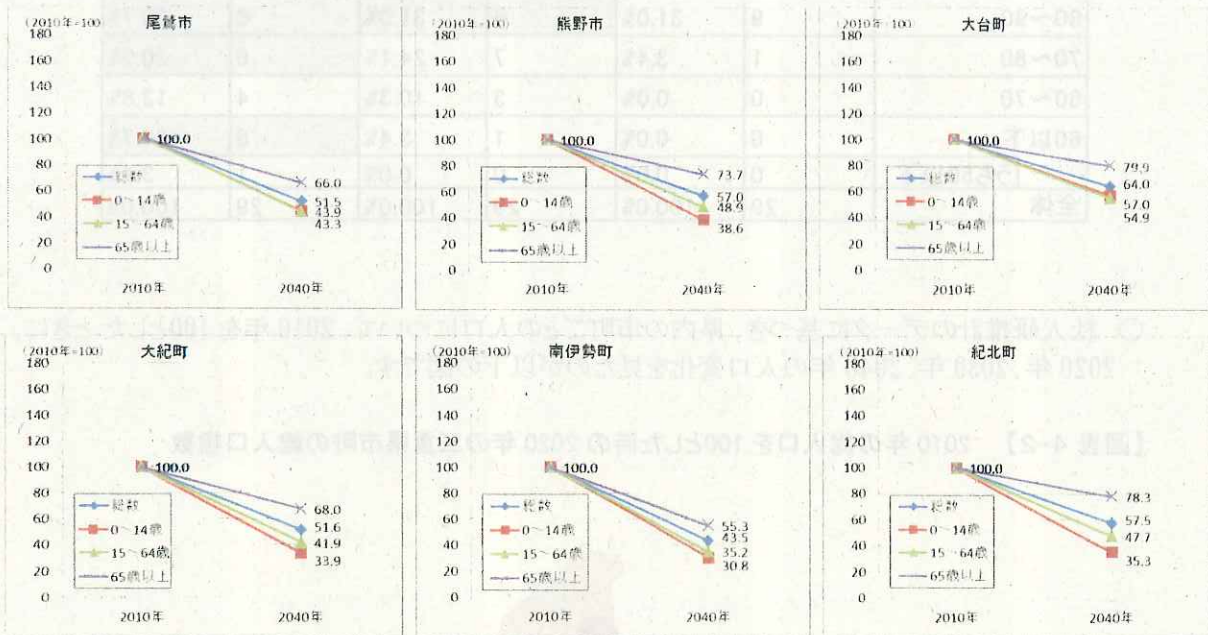
第2段階





【図表 3-4】

第3段階



4. 市町別人口増減状況

- 社人研推計のデータに基づき、県内の市町ごとに 2010 年を 100 とした場合の人口増減状況を見たのが下表です。

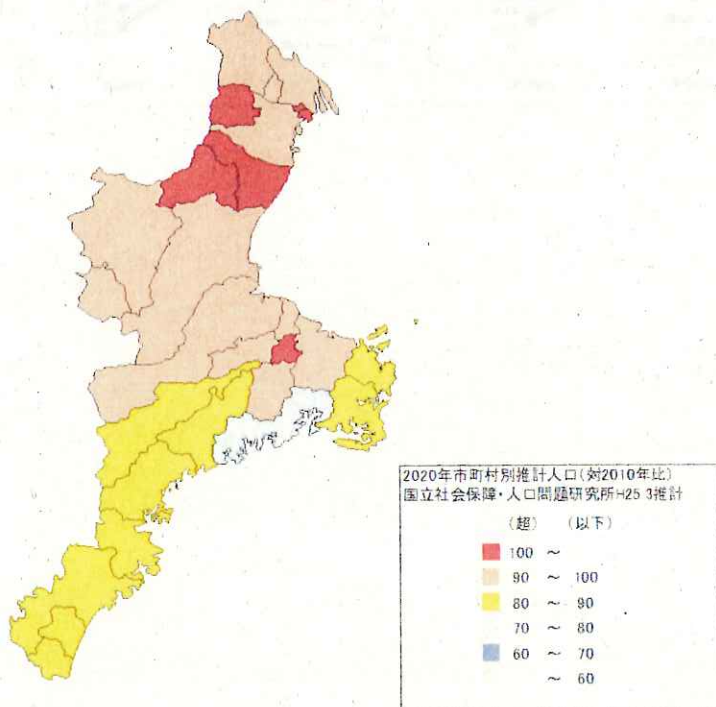
【図表 4-1】

人口増減状況(対2010年)別の市町村数の推移(三重県)

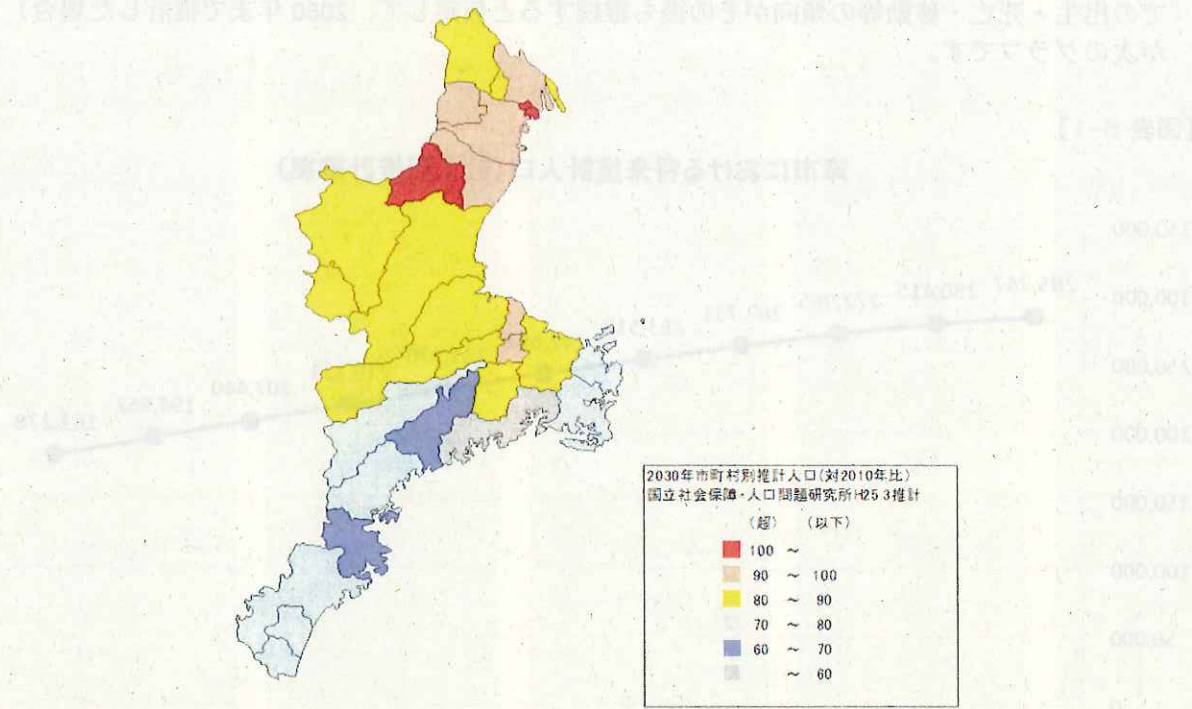
	H32(2020)年		H42(2030)年		H52(2040)年	
	市町村数	割合	市町村数	割合	市町村数	割合
100超	6	20.7%	3	10.3%	2	6.9%
90~100	13	44.8%	6	20.7%	4	13.8%
80~90	9	31.0%	9	31.0%	6	20.7%
70~80	1	3.4%	7	24.1%	6	20.7%
60~70	0	0.0%	3	10.3%	4	13.8%
60以下	0	0.0%	1	3.4%	6	20.7%
うち50以下	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%
全体	29	100.0%	29	100.0%	29	100.0%

- 社人研推計のデータに基づき、県内の市町ごとの人口について、2010 年を 100 としたときに、2020 年、2030 年、2040 年の人口変化を見たのが以下の図です。

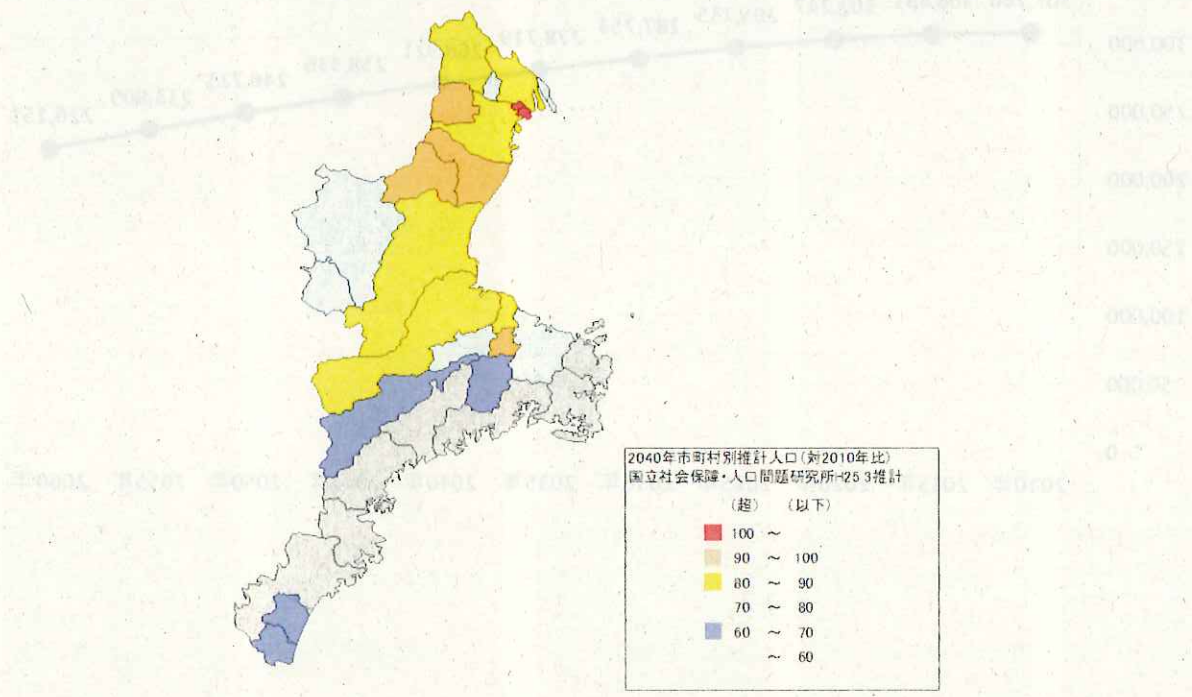
【図表 4-2】 2010 年の総人口を 100 とした時の 2020 年の三重県市町の総人口指数



【図表 4-3】 2010年の総人口を100とした時の2030年の三重県市町の総人口指数



【図表 4-4】 2010年の総人口を100とした時の2040年の市町村の総人口指数

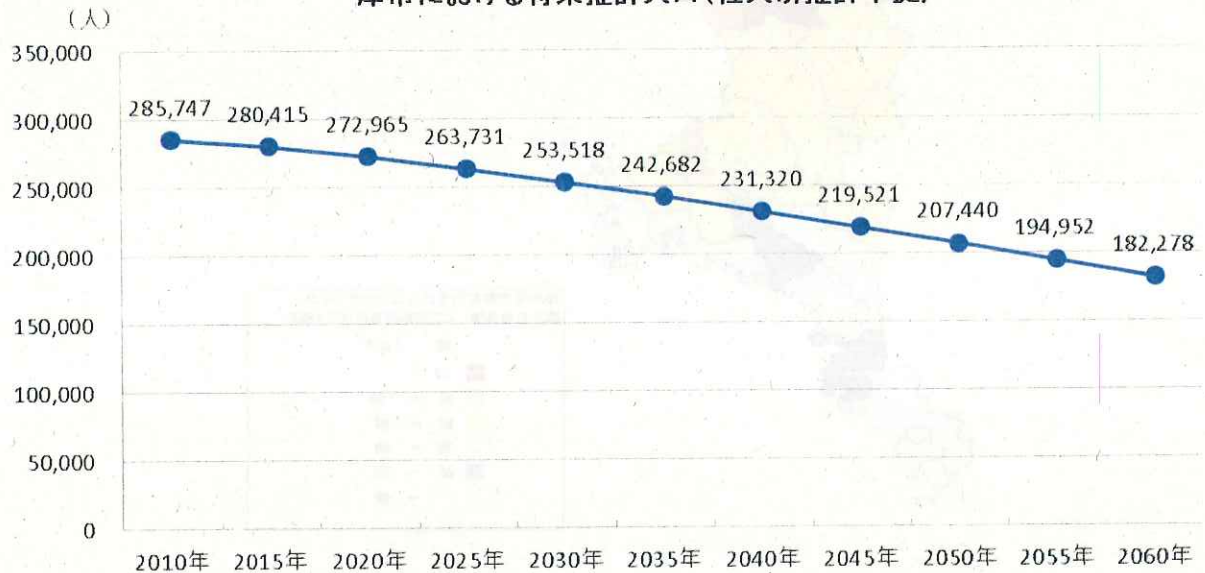


5. 市町別将来人口のベース推計

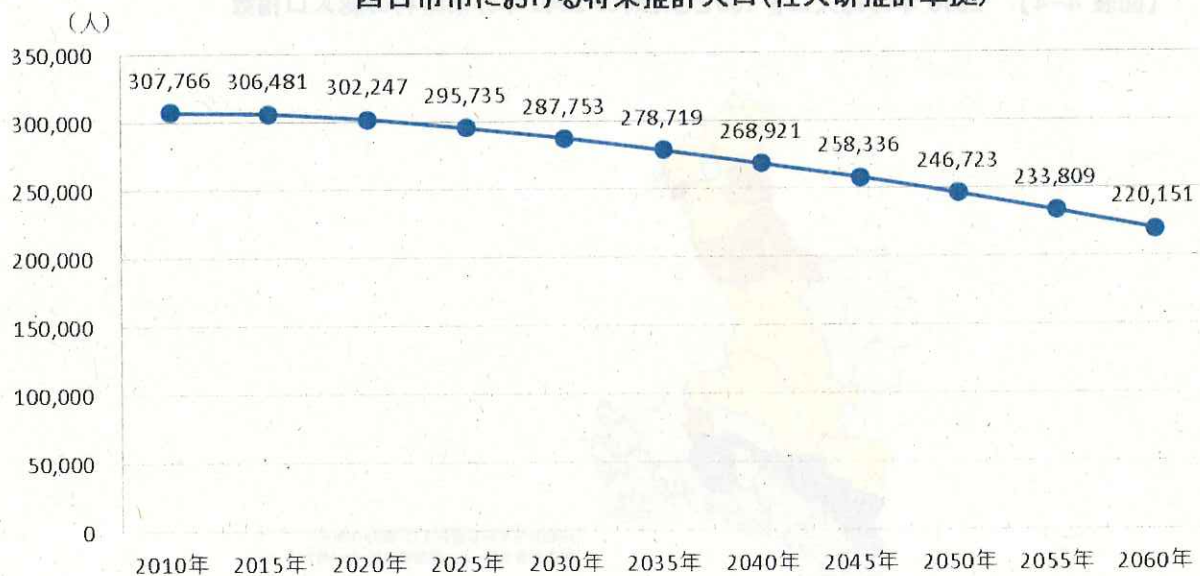
○ 市町別における2010年から2060年までの社人研推計に準拠した将来人口推計（2040年までの出生・死亡・移動等の傾向がその後も継続すると仮定して、2060年まで推計した場合）が次のグラフです。

【図表 5-1】

津市における将来推計人口(社人研推計準拠)



四日市市における将来推計人口(社人研推計準拠)



伊勢市における将来推計人口(社人研推計準拠)



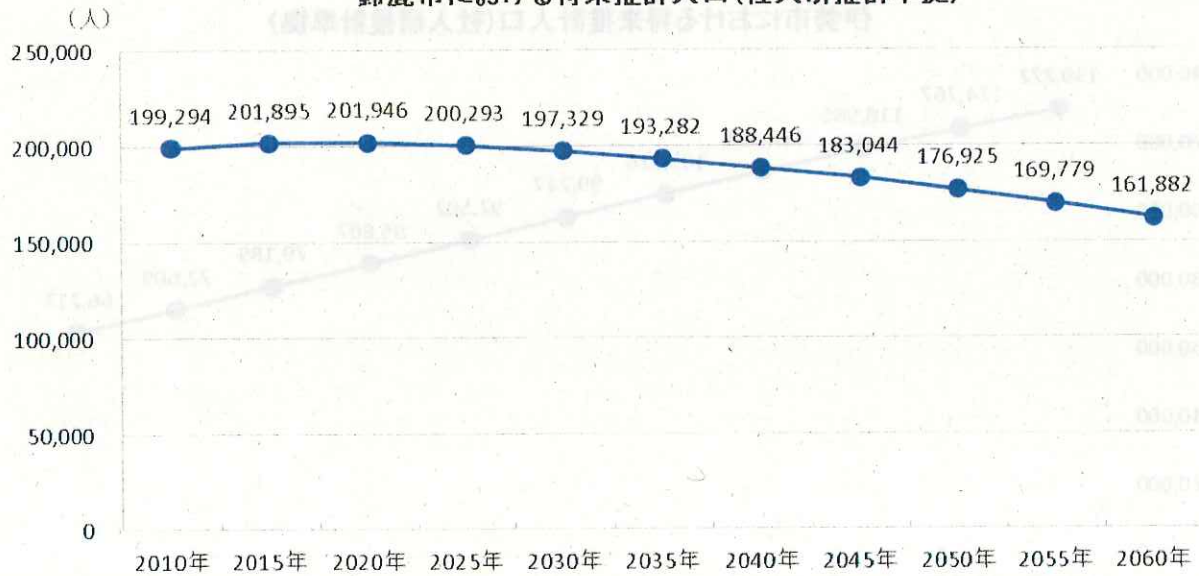
松阪市における将来推計人口(社人研推計準拠)



桑名市における将来推計人口(社人研推計準拠)



鈴鹿市における将来推計人口(社人研推計準拠)



名張市における将来推計人口(社人研推計準拠)



尾鷲市における将来推計人口(社人研推計準拠)





いなべ市における将来推計人口(社人研推計準拠)

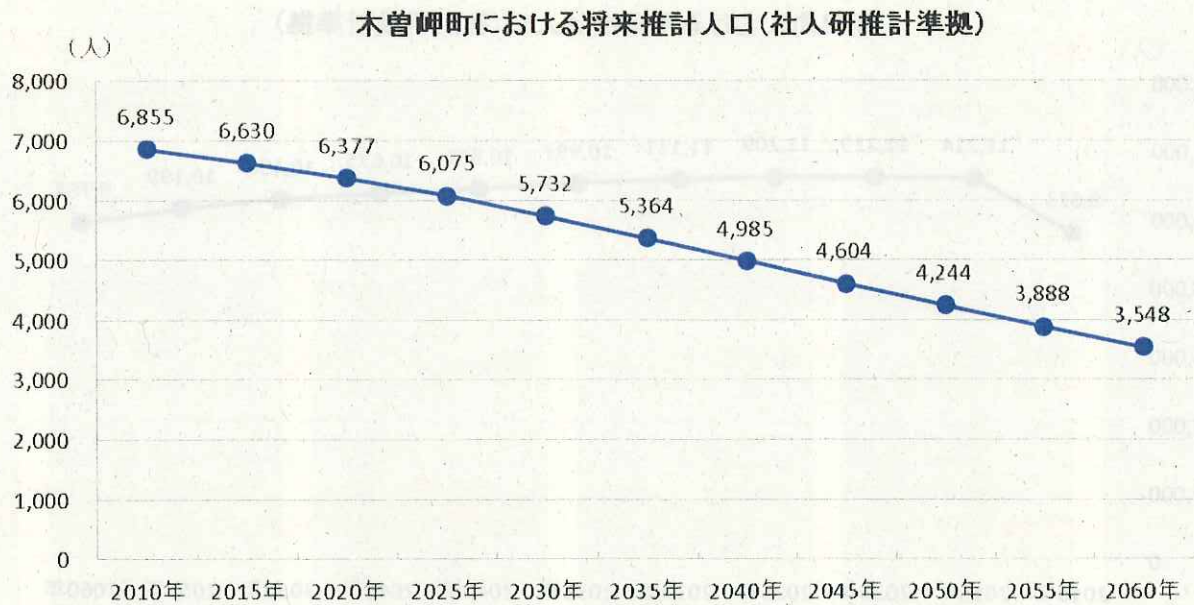


志摩市における将来推計人口(社人研推計準拠)



伊賀市における将来推計人口(社人研推計準拠)

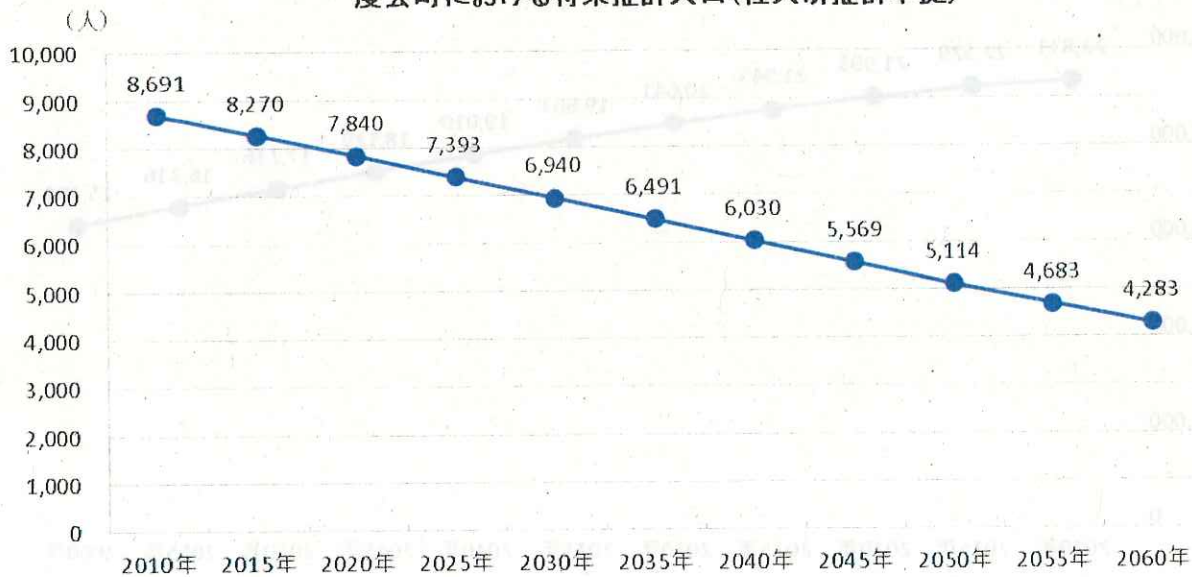








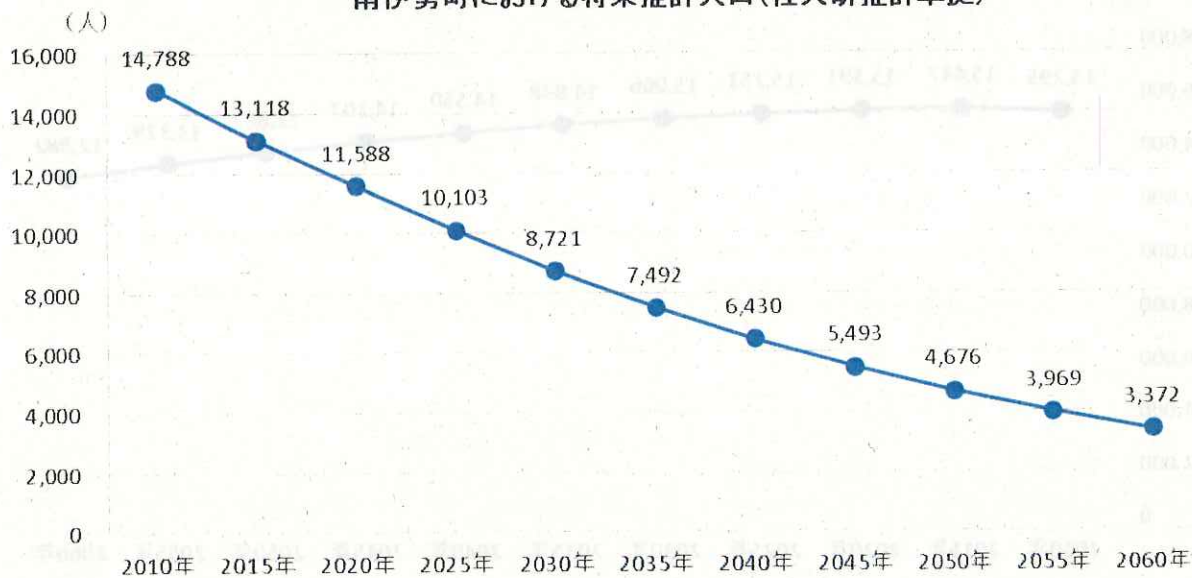
度会町における将来推計人口(社人研推計準拠)



大紀町における将来推計人口(社人研推計準拠)



南伊勢町における将来推計人口(社人研推計準拠)



紀北町における将来推計人口(社人研推計準拠)



御浜町における将来推計人口(社人研推計準拠)



紀宝町における将来推計人口(社人研推計準拠)



6. 5地域及び2地域別将来人口のベース推計

○ 5地域別（北勢、中勢、南勢、伊賀、東紀州）及び2地域別（北中部、南部）における2010年から2060年までの社人研推計に準拠した将来人口推計（2040年までの出生・死亡・移動等の傾向がその後も継続すると仮定して、2060年まで推計した場合）が次のグラフです。

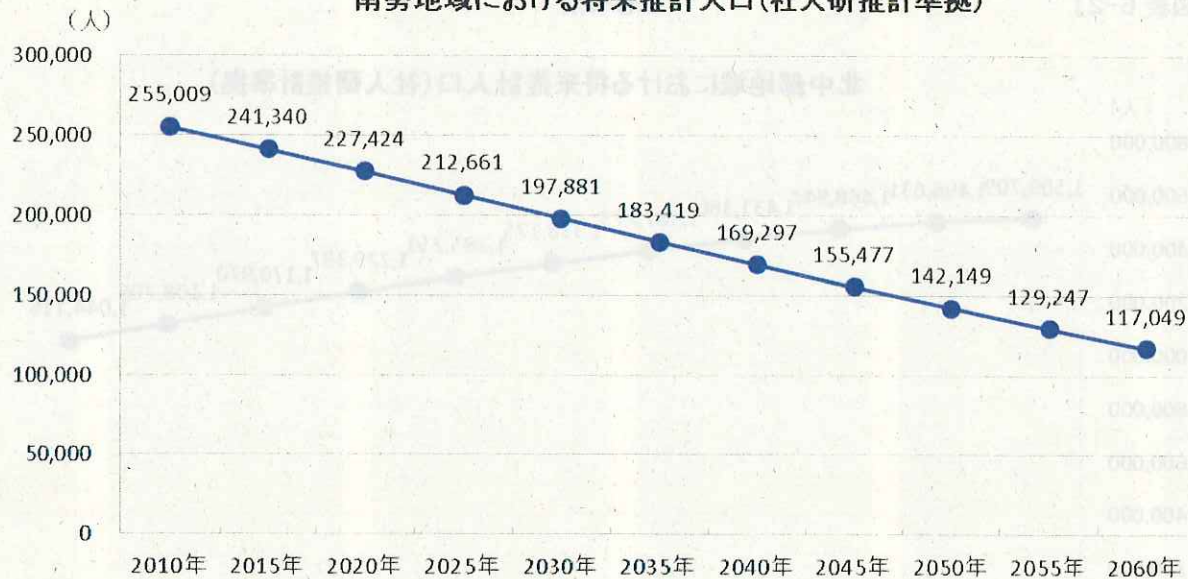
【図表 6-1】

5地域別



- ・北勢地域/四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
- ・中勢地域/津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
- ・南勢地域/伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
- ・伊賀地域/名張市、伊賀市
- ・東紀州地域/尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

南勢地域における将来推計人口(社人研推計準拠)



伊賀地域における将来推計人口(社人研推計準拠)



東紀州地域における将来推計人口(社人研推計準拠)



【図表 6-2】

2地域別

北中部地域における将来推計人口(社人研推計準拠)



南部地域における将来推計人口(社人研推計準拠)



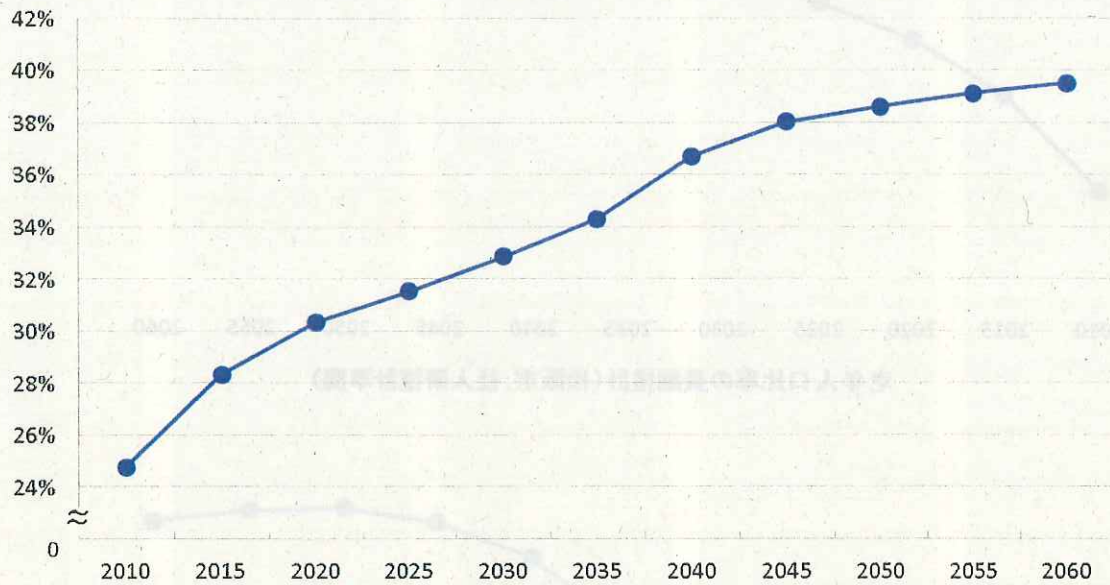
- ・北中部地域/津市、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、いなべ市、伊賀市、木曾岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町、多気町、明和町
- ・南部地域/伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町

7. 市町別老年人口比率の長期推計

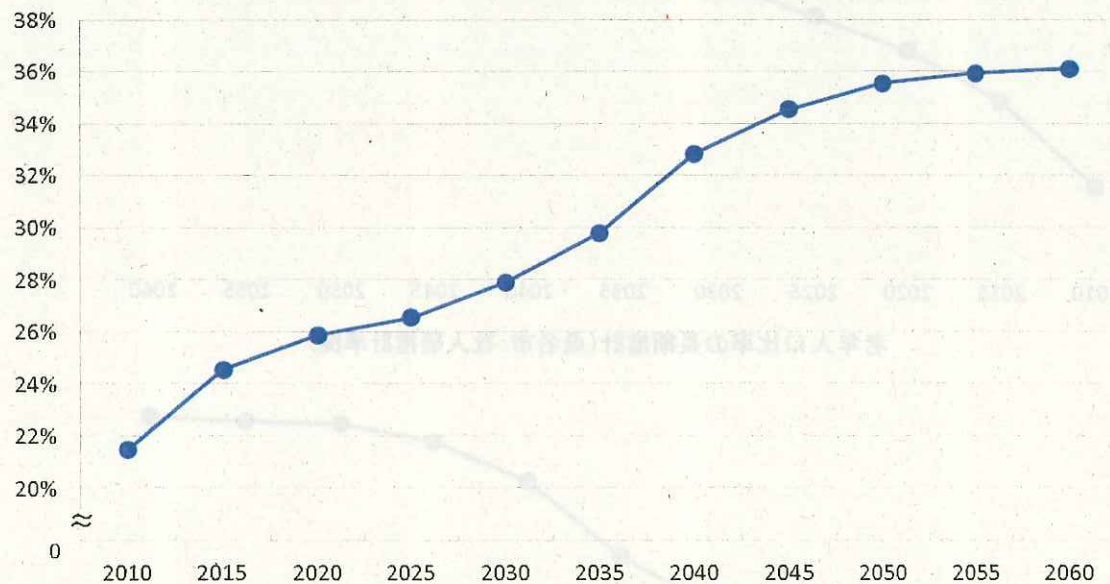
- 市町別における 2010 年から 2060 年までの社人研推計に準拠した老年人口比率の長期推計（2040 年までの出生・死亡・移動等の傾向がその後も継続すると仮定して、2060 年まで推計した場合）が次のグラフです。

【図表 7-1】

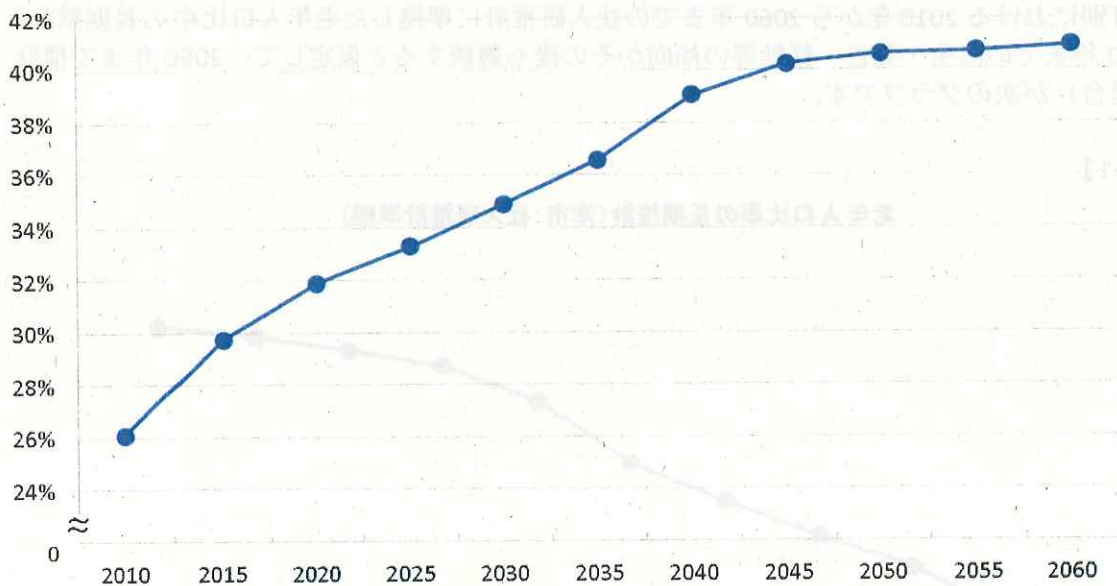
老年人口比率の長期推計(津市:社人研推計準拠)



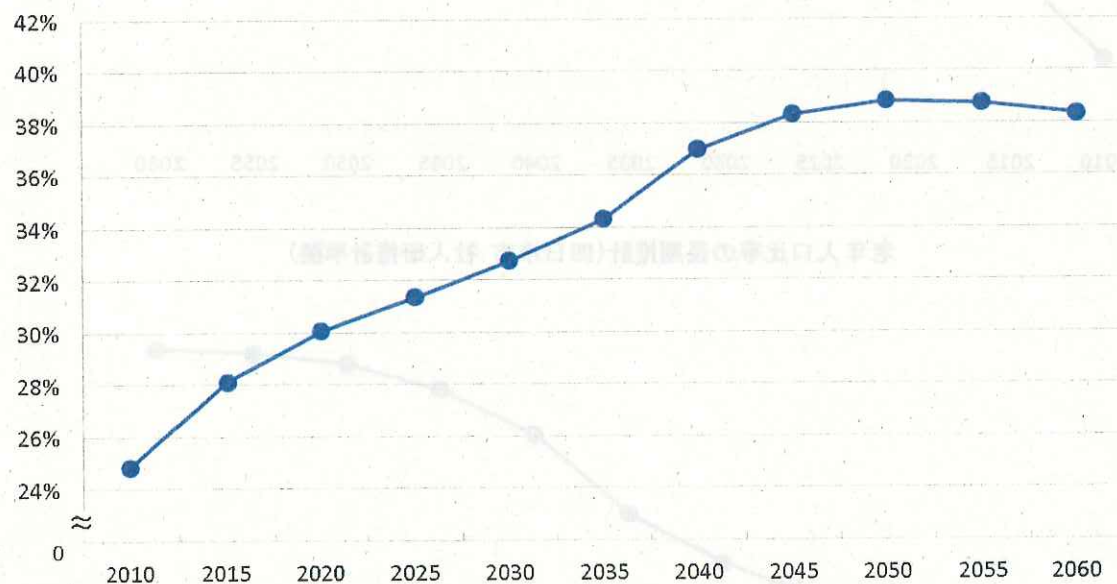
老年人口比率の長期推計(四日市市:社人研推計準拠)



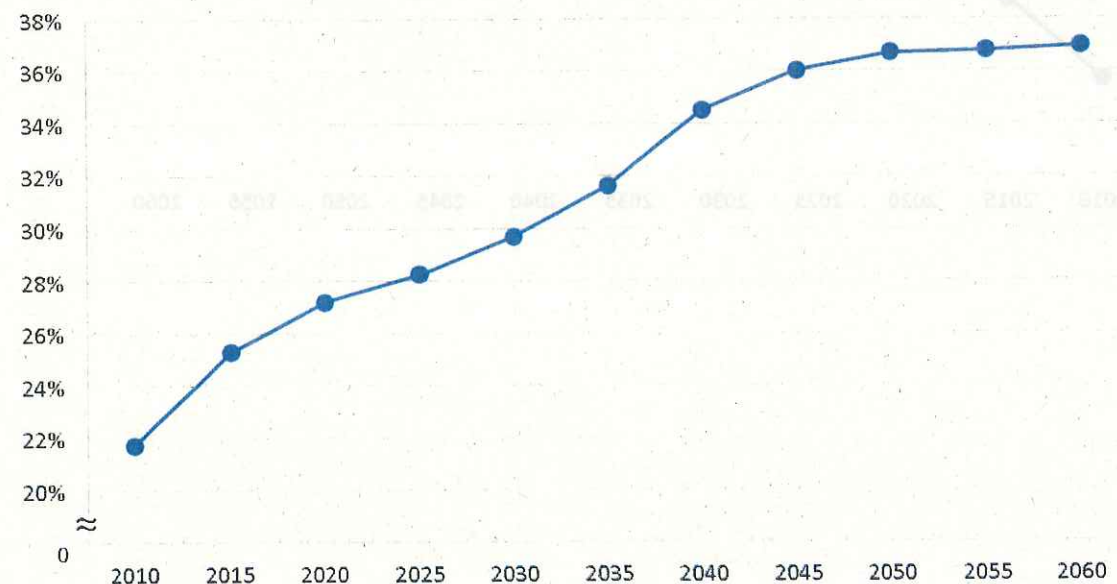
老年人口比率の長期推計(伊勢市:社人研推計準拠)



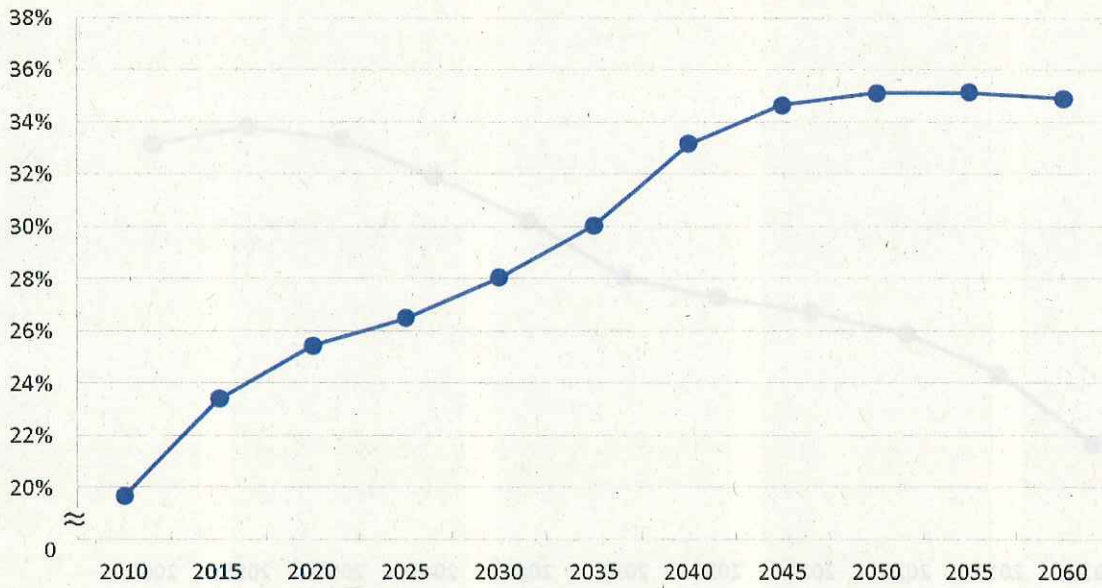
老年人口比率の長期推計(松阪市:社人研推計準拠)



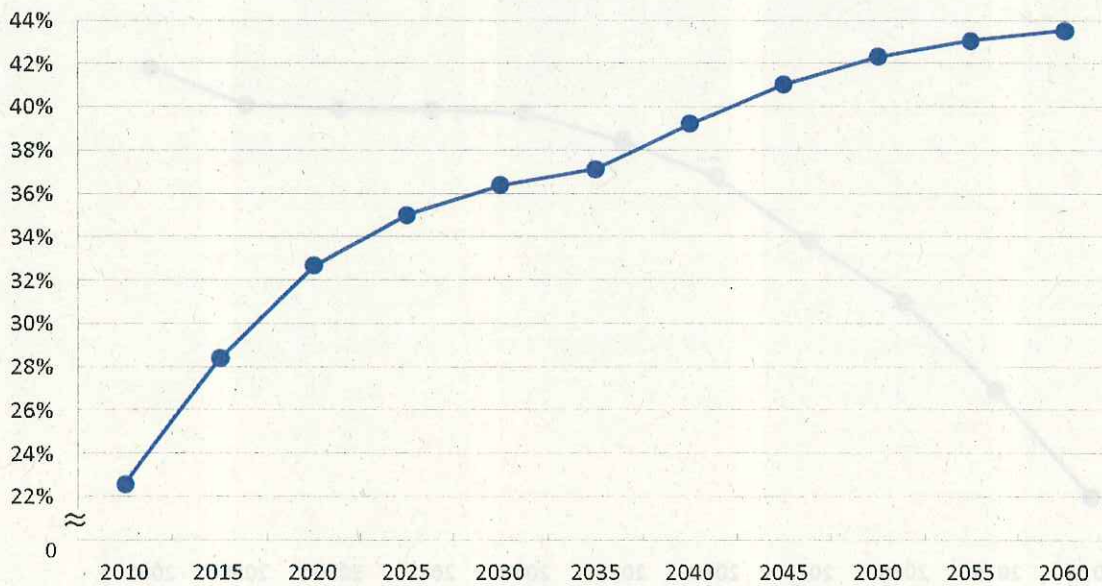
老年人口比率の長期推計(桑名市:社人研推計準拠)



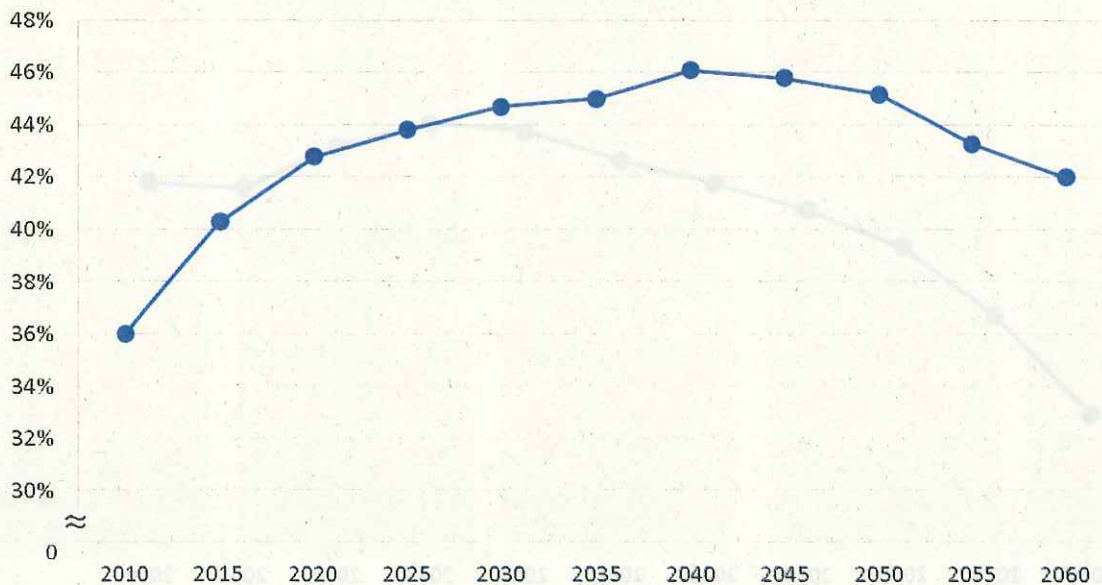
老年人口比率の長期推計(鈴鹿市:社人研推計準拠)



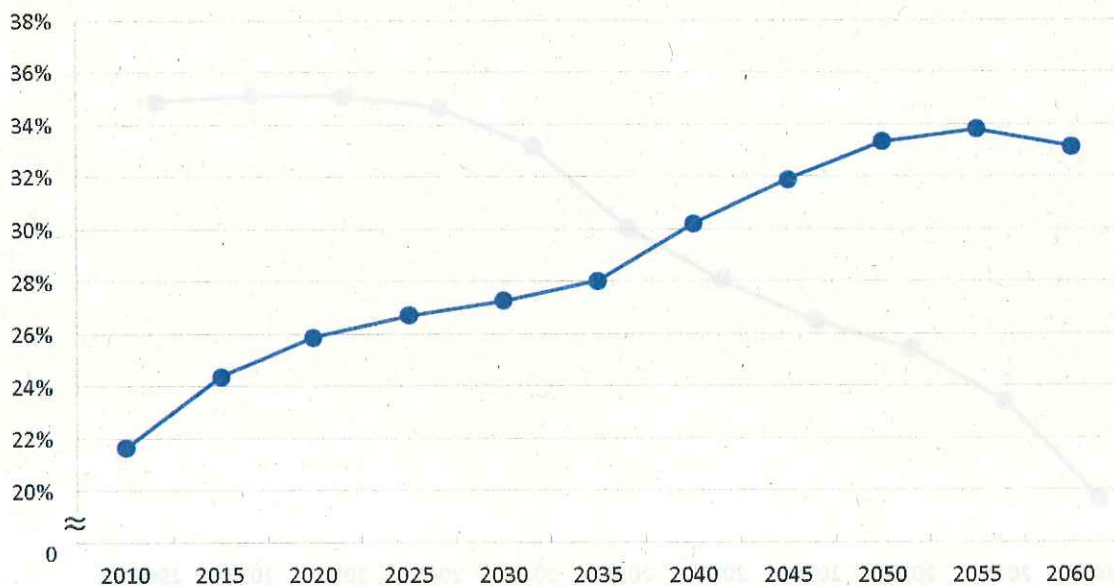
老年人口比率の長期推計(名張市:社人研推計準拠)



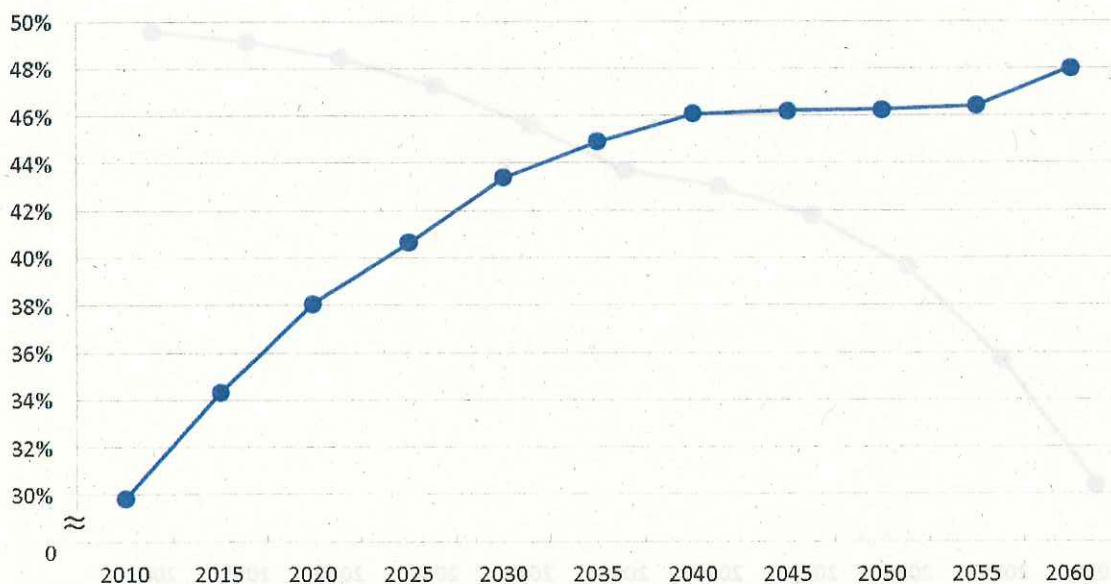
老年人口比率の長期推計(尾鷲市:社人研推計準拠)



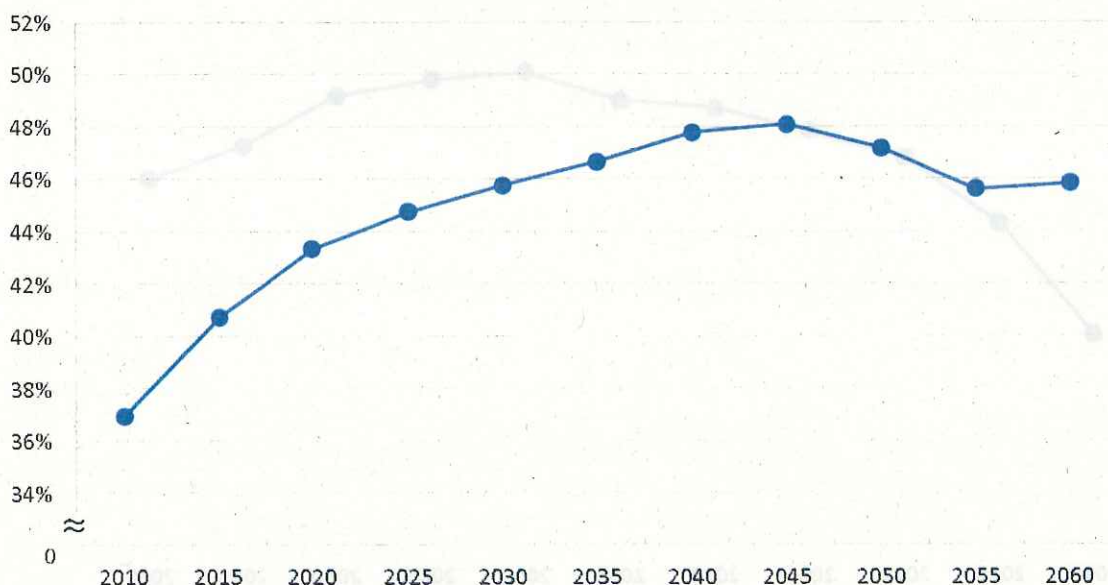
老年人口比率の長期推計(亀山市:社人研推計準拠)



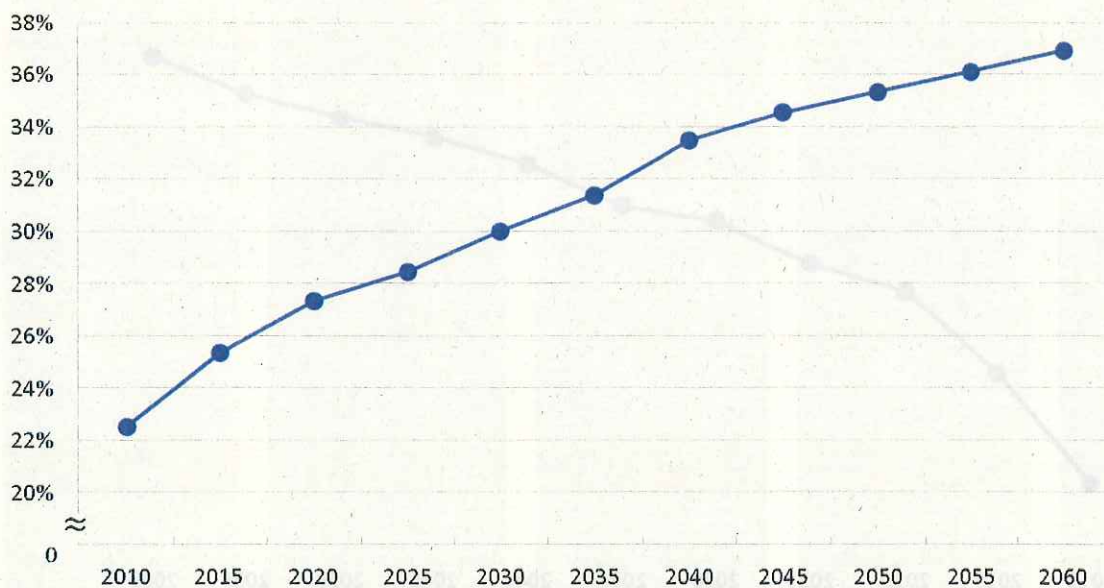
老年人口比率の長期推計(鳥羽市:社人研推計準拠)



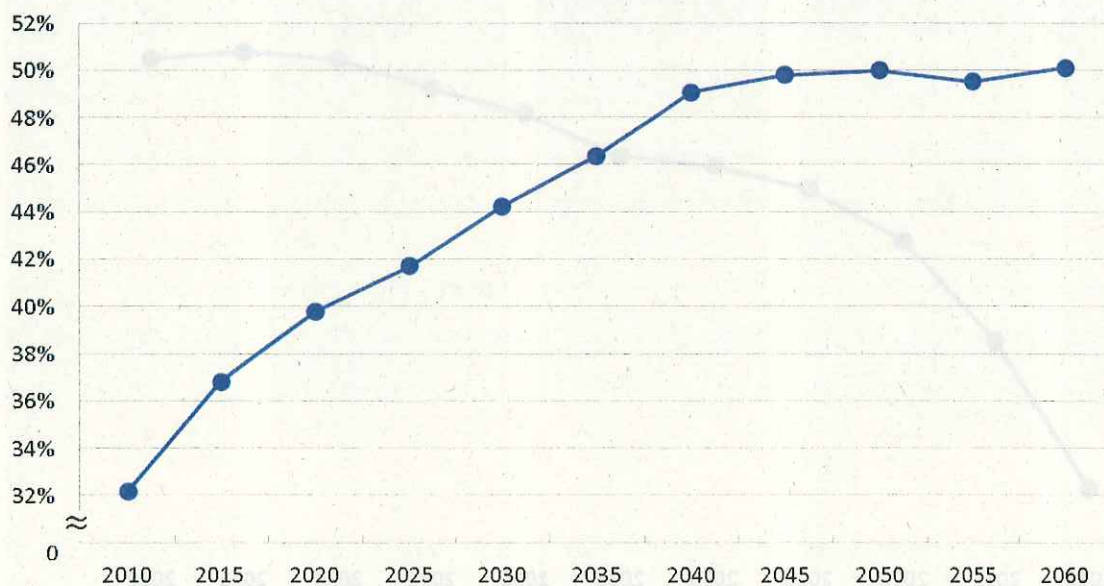
老年人口比率の長期推計(熊野市:社人研推計準拠)



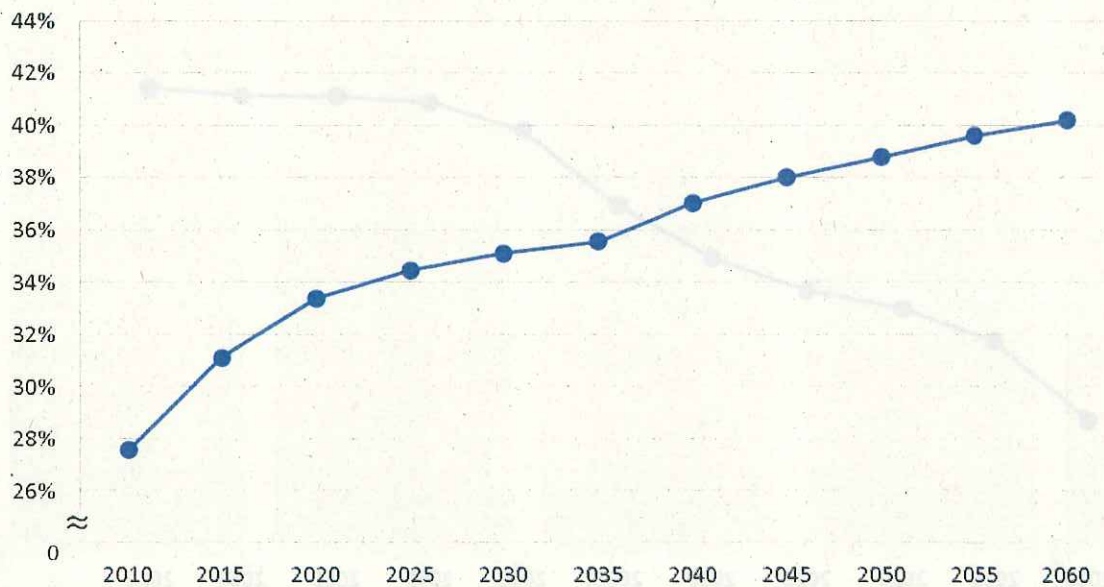
老年人口比率の長期推計(いなべ市:社人研推計準拠)

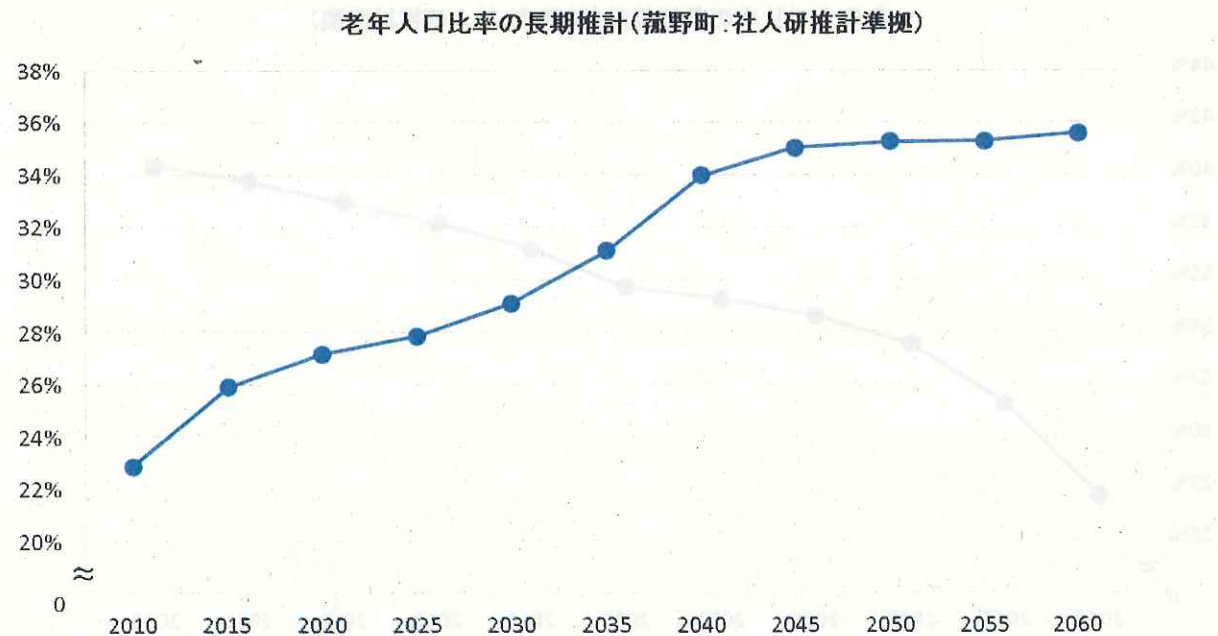
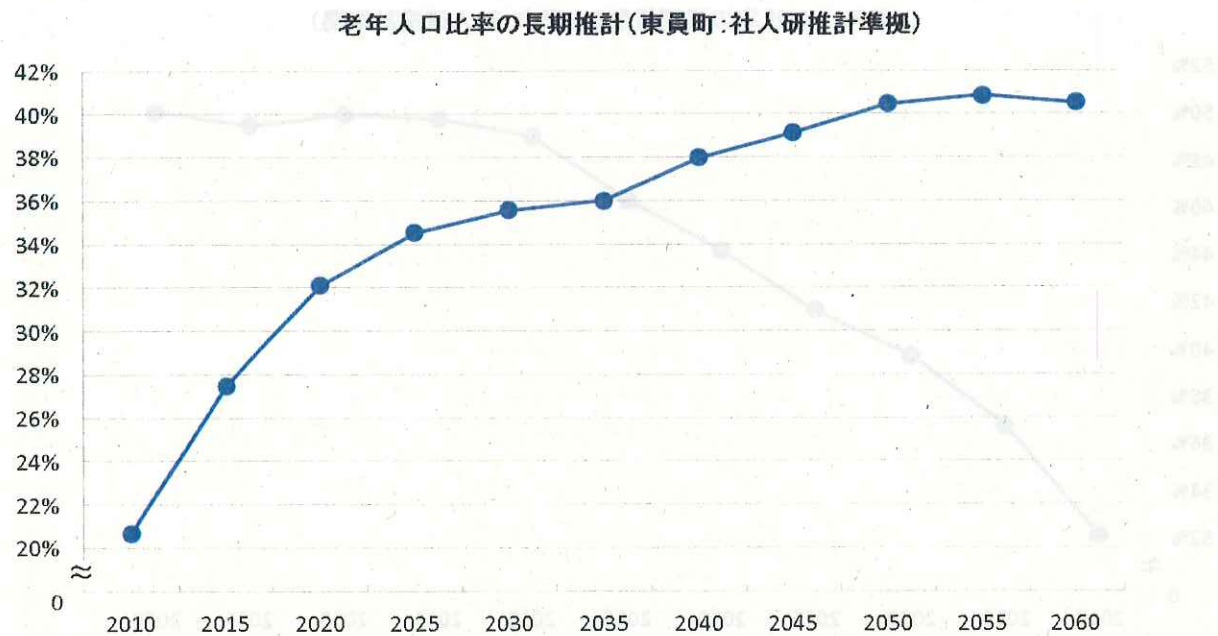
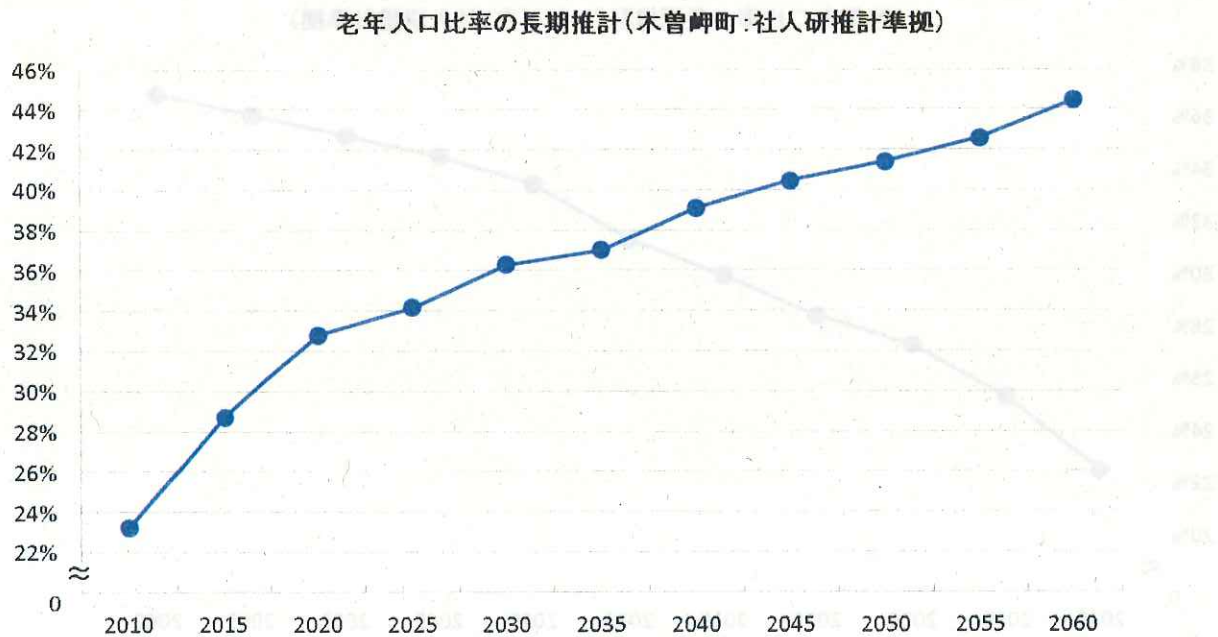


老年人口比率の長期推計(志摩市:社人研推計準拠)

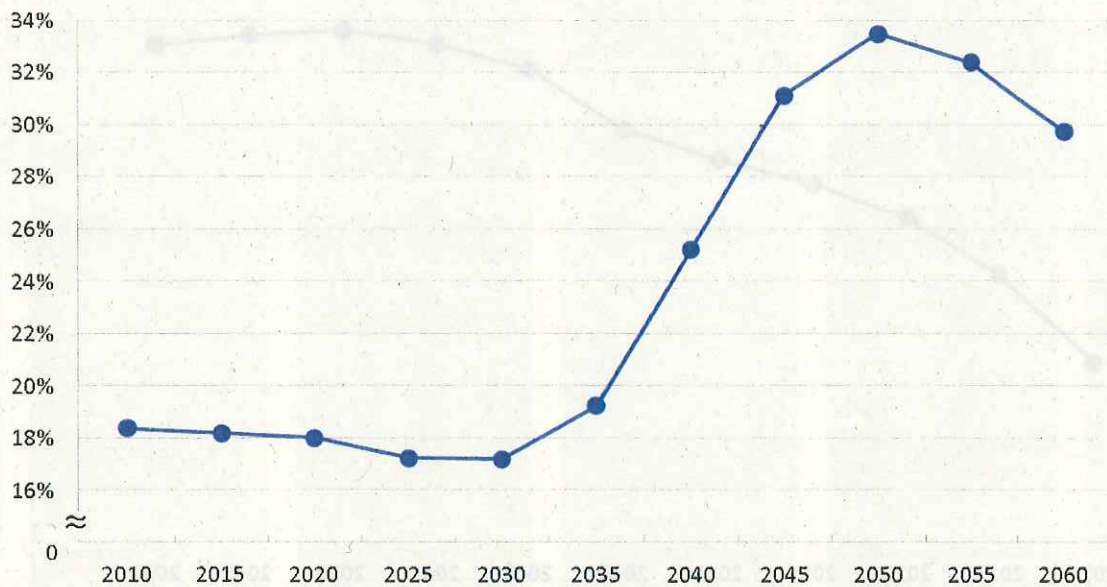


老年人口比率の長期推計(伊賀市:社人研推計準拠)

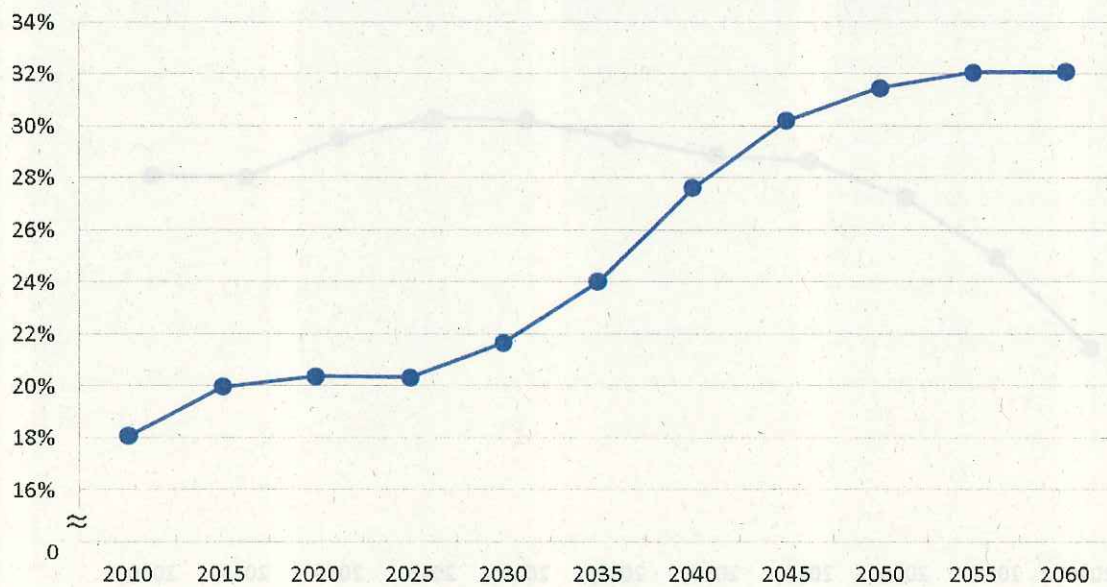




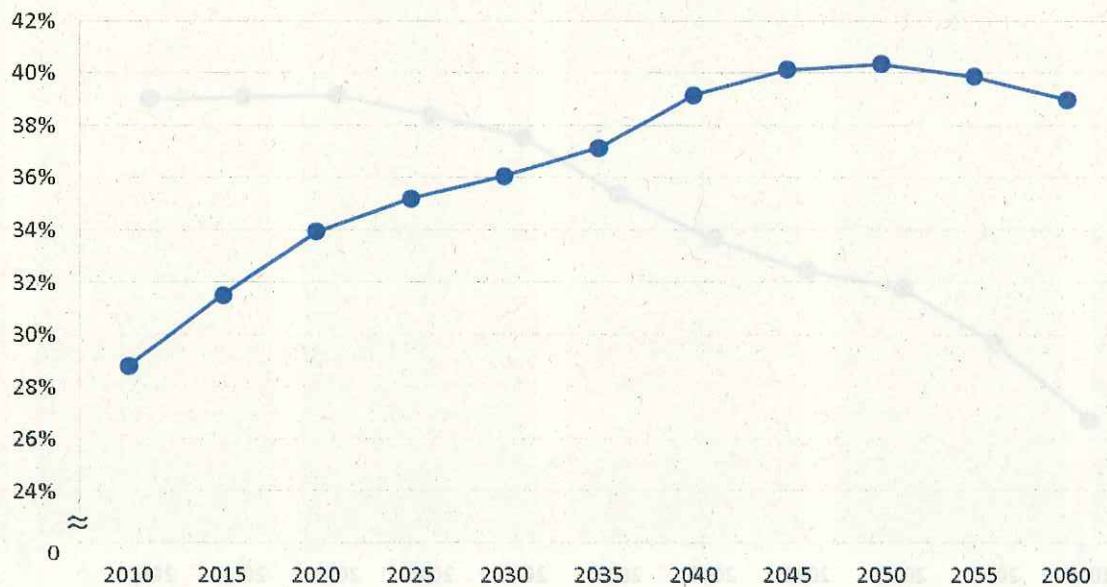
老年人口比率の長期推計(朝日町:社人研推計準拠)



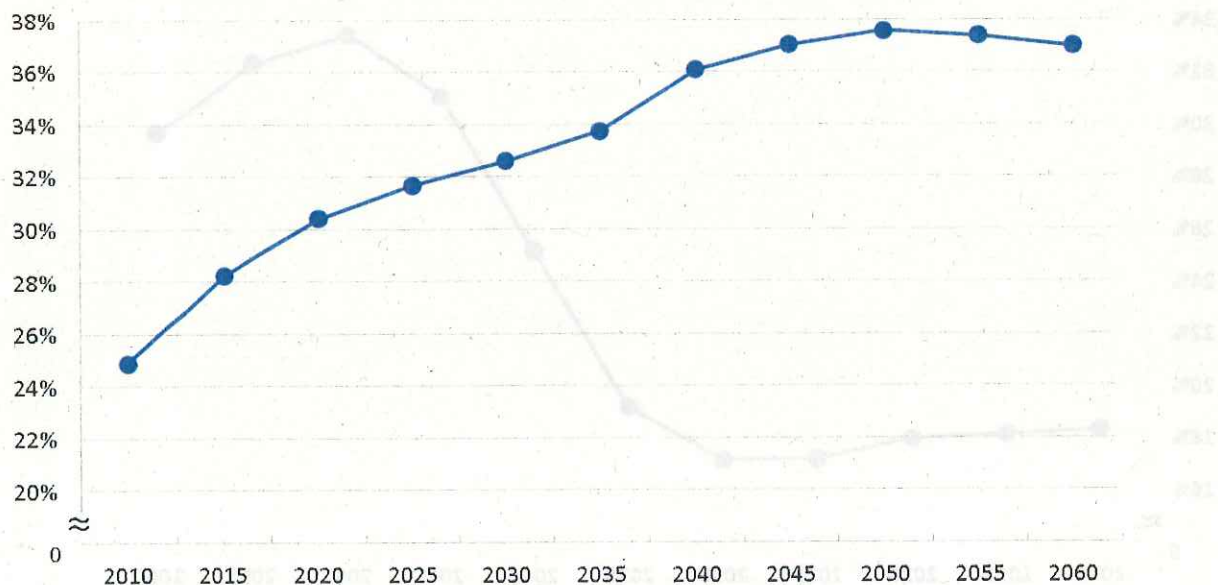
老年人口比率の長期推計(川越町:社人研推計準拠)



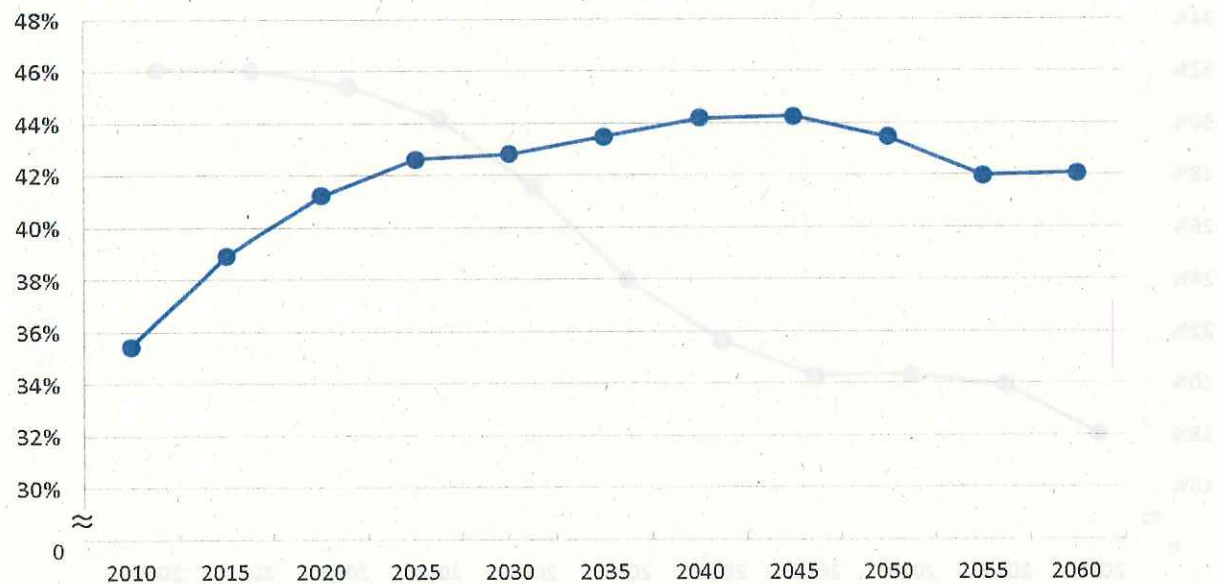
老年人口比率の長期推計(多気町:社人研推計準拠)



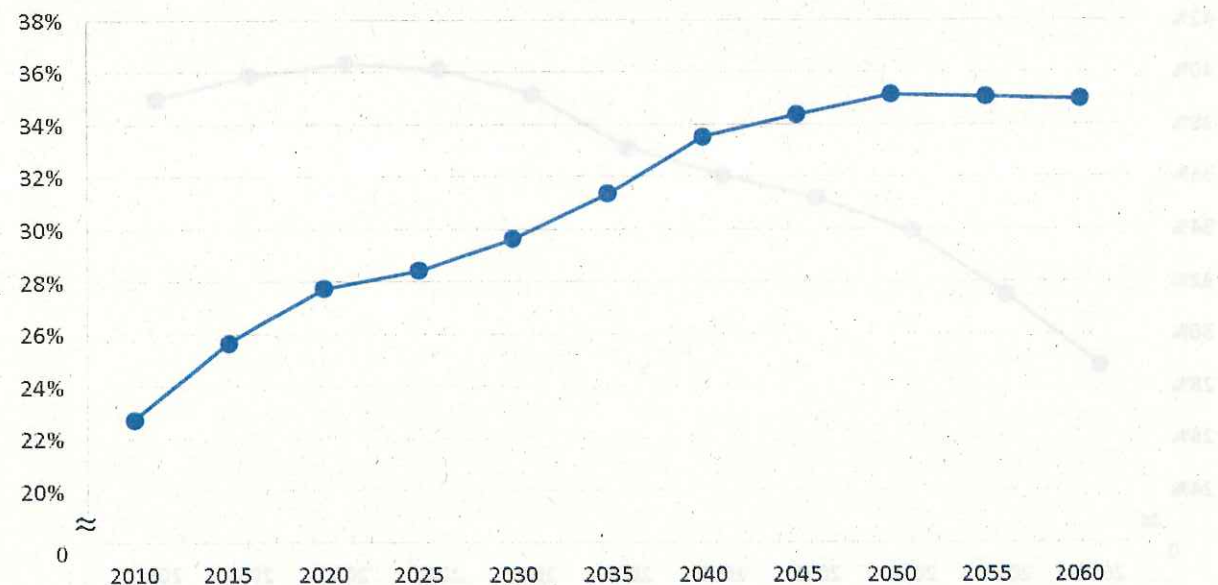
老年人口比率の長期推計(明和町:社人研推計準拠)



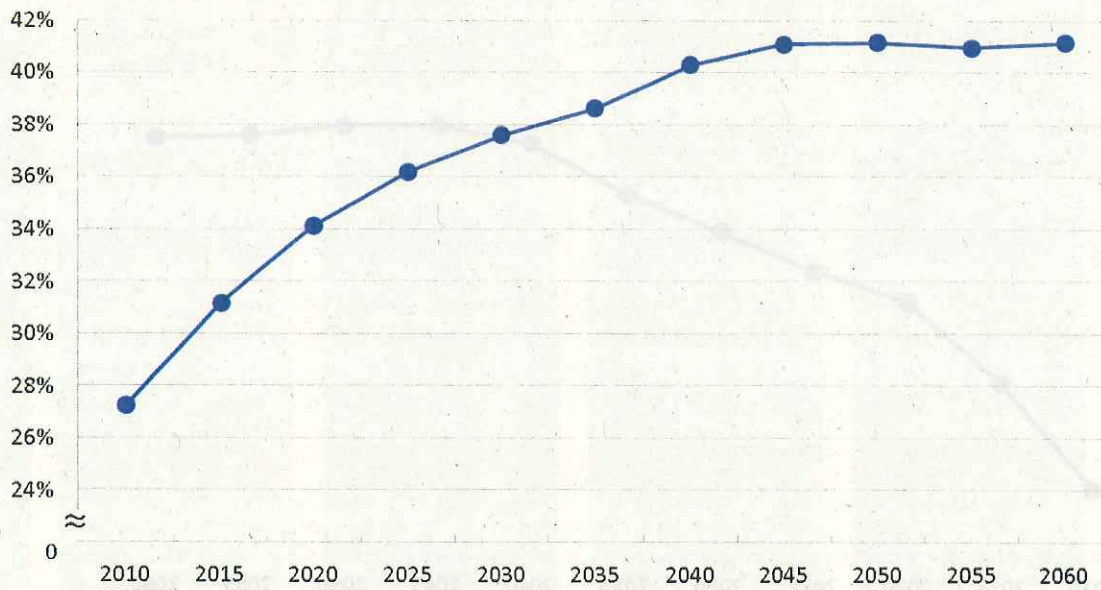
老年人口比率の長期推計(大台町:社人研推計準拠)



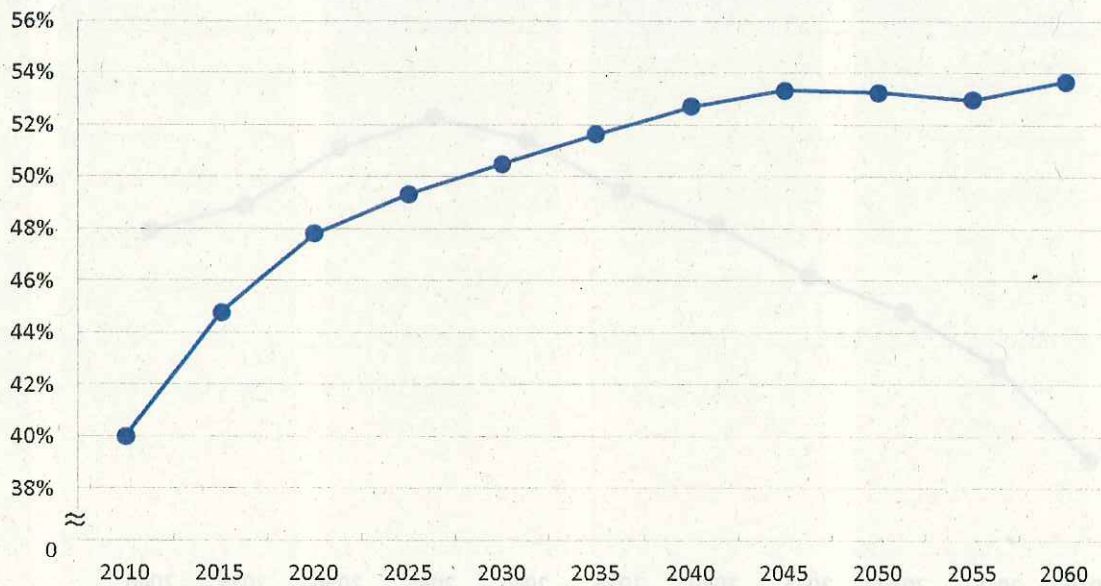
老年人口比率の長期推計(玉城町:社人研推計準拠)



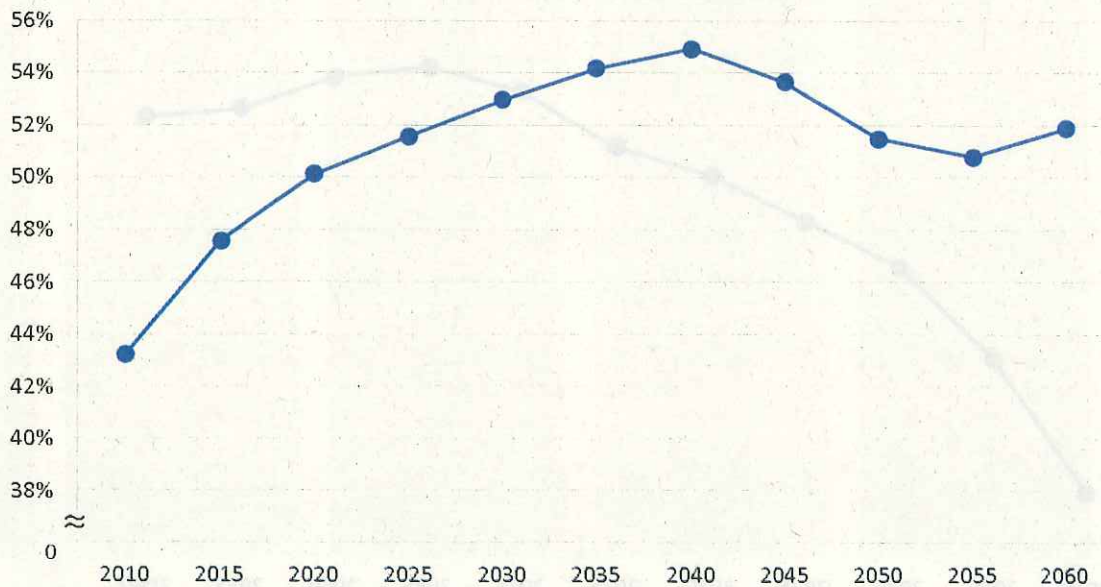
老年人口比率の長期推計(度会町:社人研推計準拠)



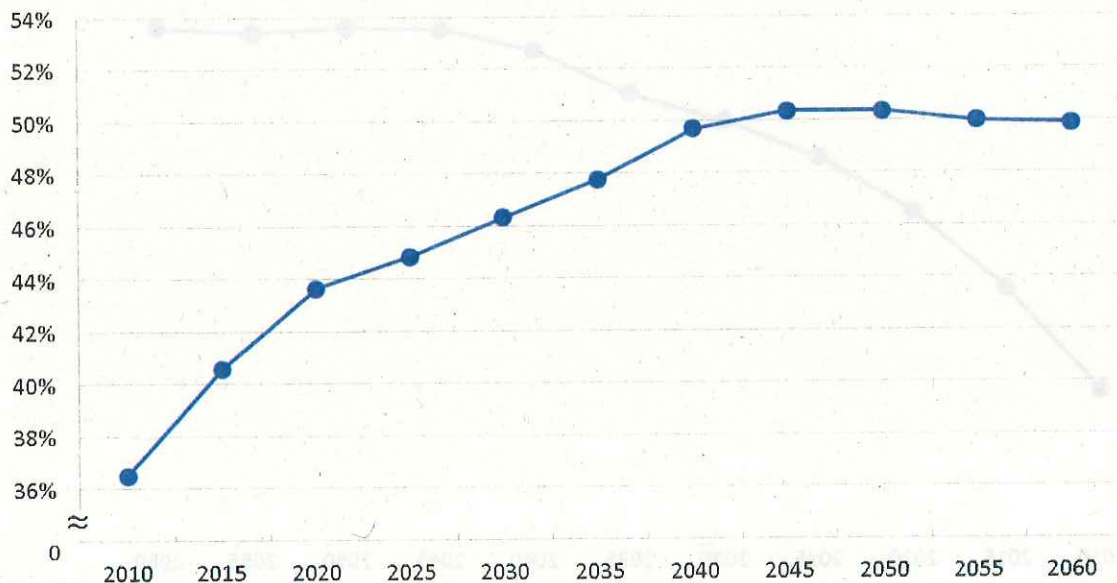
老年人口比率の長期推計(大紀町:社人研推計準拠)



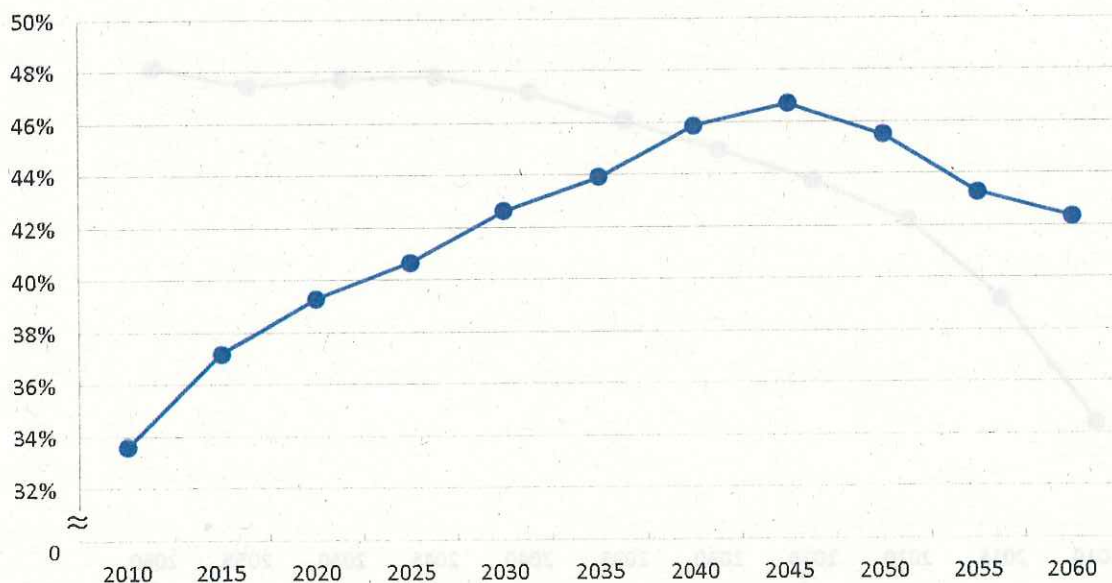
老年人口比率の長期推計(南伊勢町:社人研推計準拠)



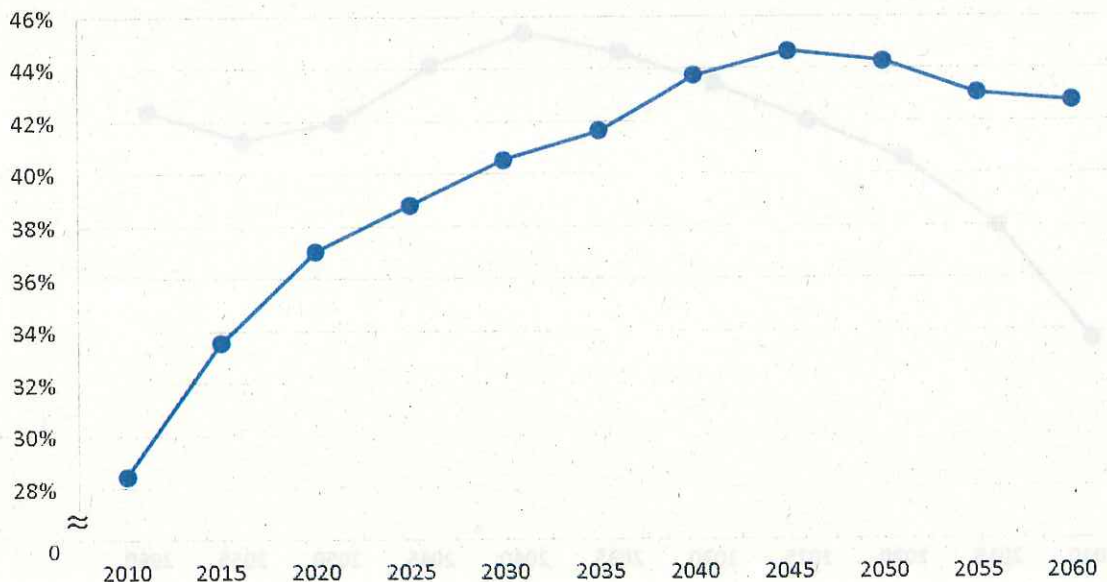
老年人口比率の長期推計(紀北町:社人研推計準拠)



老年人口比率の長期推計(御浜町:社人研推計準拠)



老年人口比率の長期推計(紀宝町:社人研推計準拠)

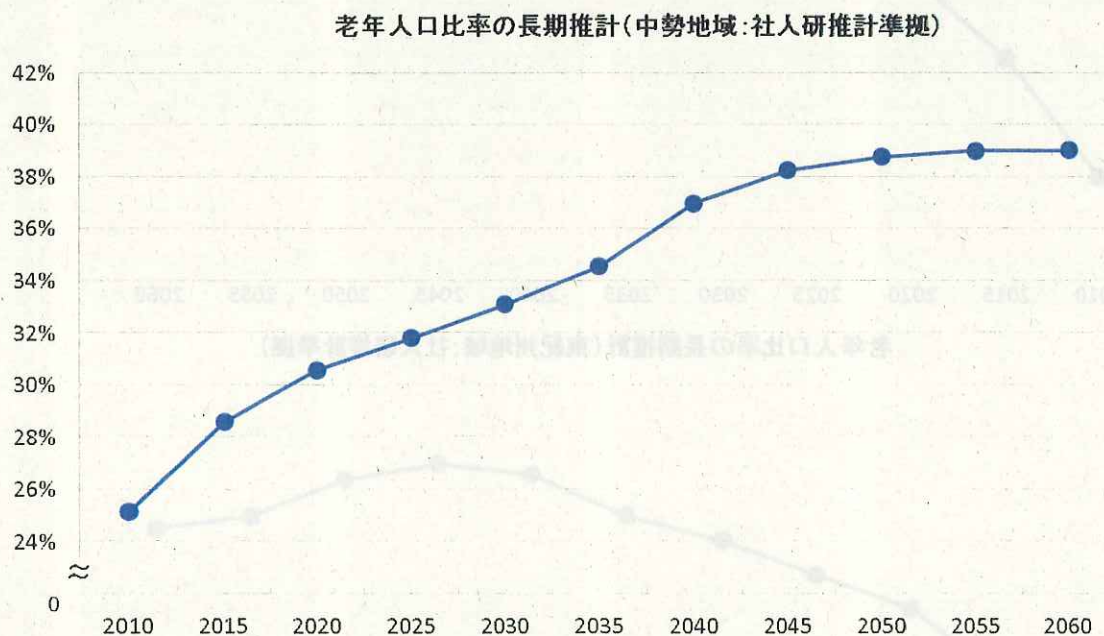


8. 5地域及び2地域別老年人口比率の長期推計

○ 5地域別（北勢、中勢、南勢、伊賀、東紀州）及び2地域別（北中部、南部）における2010年から2060年までの社人研推計に準拠した老年人口比率の長期推計（2040年までの出生・死亡・移動等の傾向がその後も継続すると仮定して、2060年まで推計した場合）が次のグラフです。

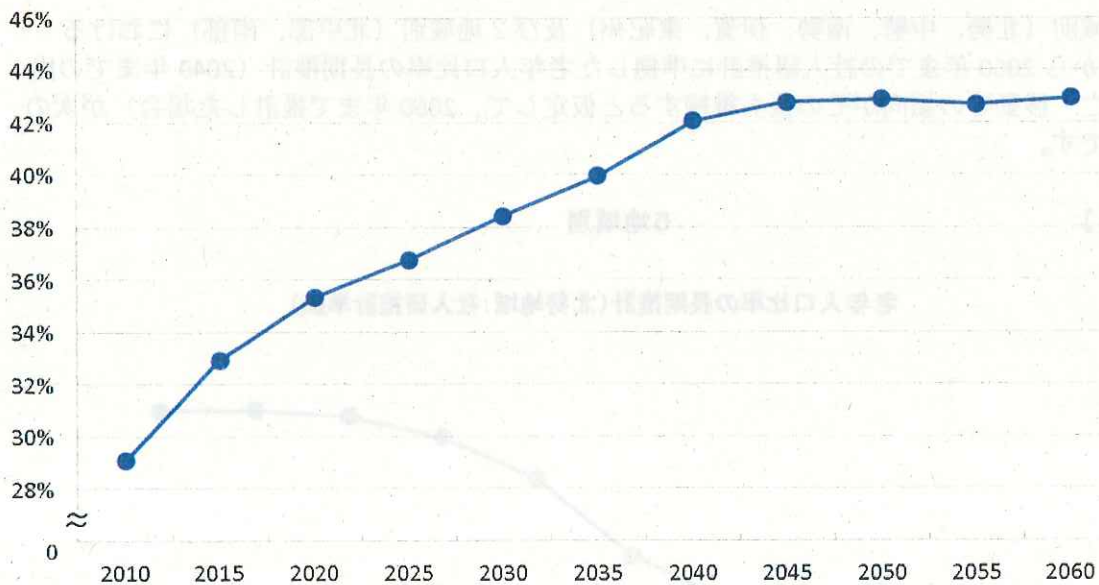
【図表 8-1】

5地域別

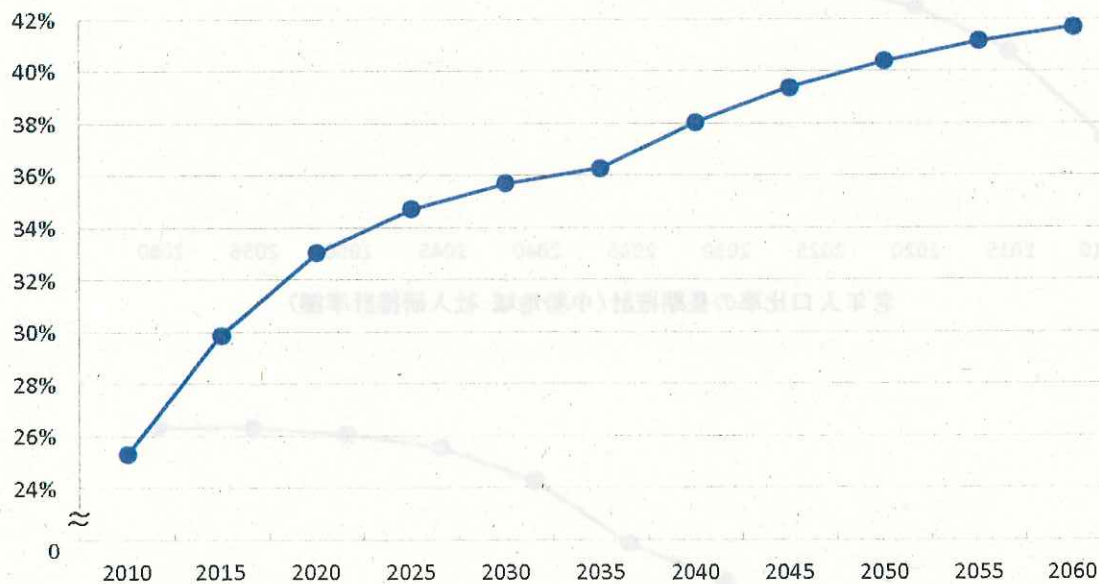


- ・北勢地域/四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
- ・中勢地域/津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
- ・南勢地域/伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
- ・伊賀地域/名張市、伊賀市
- ・東紀州地域/尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

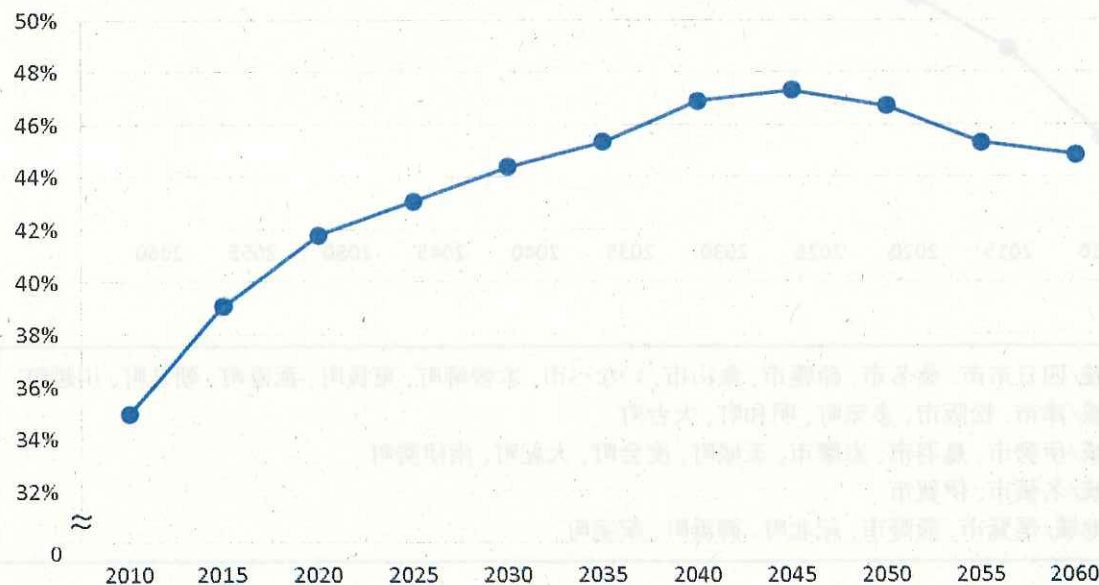
老年人口比率の長期推計(南勢地域:社人研推計準拠)



老年人口比率の長期推計(伊賀地域:社人研推計準拠)



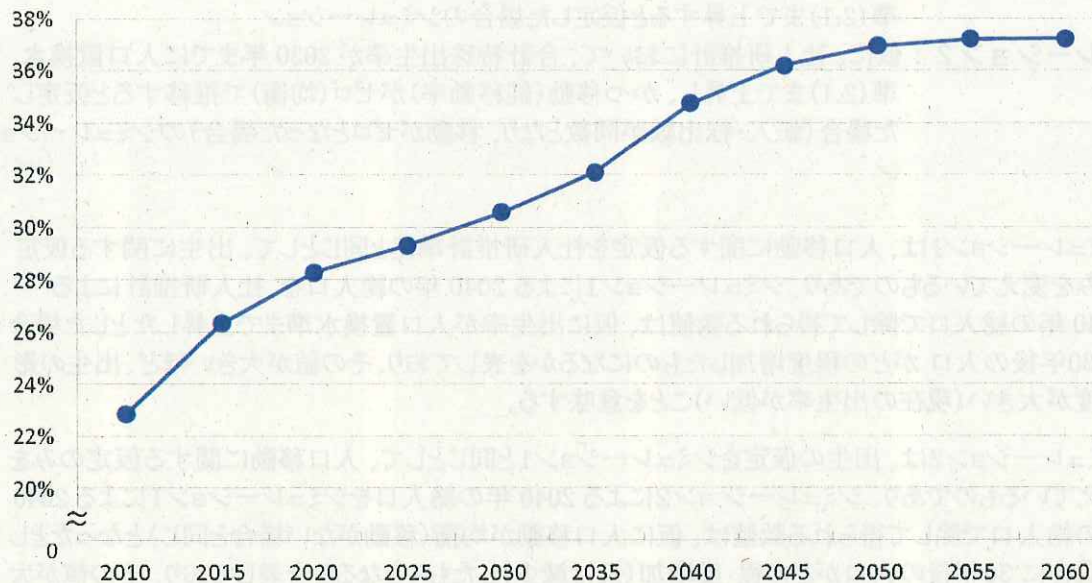
老年人口比率の長期推計(東紀州地域:社人研推計準拠)



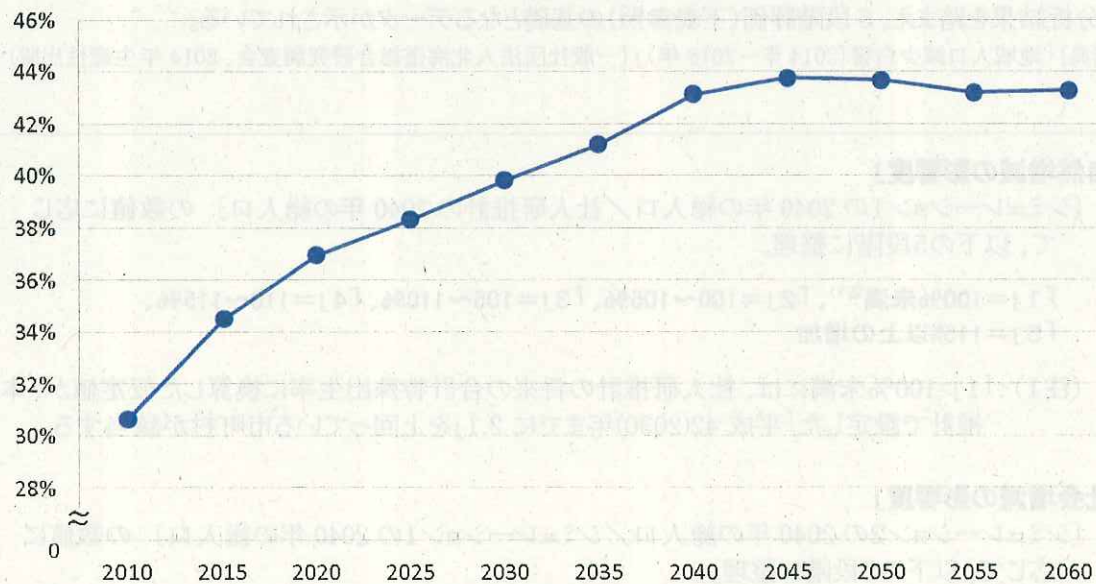
【図表 8-2】

2地域別

老年人口比率の長期推計(北中部地域:社人研推計準拠)



老年人口比率の長期推計(南部地域:社人研推計準拠)



- ・北中部地域/津市、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、いなべ市、伊賀市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町
- ・南部地域/伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町

9. 市町別将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度

シミュレーション1：仮に、社人研推計において、合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準(2.1)まで上昇すると仮定した場合のシミュレーション

シミュレーション2：仮に、社人研推計において、合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準(2.1)まで上昇し、かつ移動(純移動率)がゼロ(均衡)で推移すると仮定した場合(転入・転出数が同数となり、移動がゼロとなった場合)のシミュレーション

※シミュレーション1は、人口移動に関する仮定を社人研推計準拠と同じとして、出生に関する仮定のみを変えているものであり、シミュレーション1による2040年の総人口を、社人研推計による2040年の総人口で除して得られる数値は、仮に出生率が人口置換水準まで上昇したとした場合に30年後の人口がどの程度増加したものになるかを表しており、その値が大きいほど、出生の影響度が大きい(現在の出生率が低い)ことを意味する。

※シミュレーション2は、出生の仮定をシミュレーション1と同じとして、人口移動に関する仮定のみを変えているものであり、シミュレーション2による2040年の総人口をシミュレーション1による2040年の総人口で除して得られる数値は、仮に人口移動が均衡(移動がない場合と同じ)となったとした場合に30年後の人口がどの程度増加(又は減少)したものとなるかを表しており、その値が大きいほど、人口移動の影響度が大きい(現在の転出超過が大きい)ことを意味する。

※以上を踏まえ、自然増減の影響度及び社会増減の影響度については、国から、全国の市町村別の分析結果を踏まえ、5段階評価(下表参照)の基礎となるデータが示されている。

(出典)「地域人口減少白書(2014年-2018年)」(一般社団法人北海道総合研究調査会、2014年生産性出版)

「自然増減の影響度」

〔シミュレーション1の2040年の総人口/社人研推計の2040年の総人口〕の数値に応じて、以下の5段階に整理。

「1」=100%未満^{注1)}、「2」=100~105%、「3」=105~110%、「4」=110~115%、
「5」=115%以上の増加

(注1)：「1」=100%未満には、社人研推計の将来の合計特殊出生率に換算した仮定値が、本推計で設定した「平成42(2030)年までに2.1」を上回っている市町村が該当する。

「社会増減の影響度」

〔シミュレーション2の2040年の総人口/シミュレーション1の2040年の総人口〕の数値に応じて、以下の5段階に整理。

「1」=100%未満^{注2)}、「2」=100~110%、「3」=110~120%、「4」=120~130%、
「5」=130%以上の増加

(注2)：「1」=100%未満には、社人研推計の将来の純移動率の仮定値が転入超過基調となっている市町村が該当する。

○ シミュレーション1、2から、当該地方公共団体について、自然増減影響度が高いほど出生率を上昇させる施策に、また、社会増減影響度が高いほど人口の社会増をもたらす施策に取り組むことが、人口減少度合いを抑える上でより効果的であるとされます。

○ 三重県内の各市町の、自然増減影響度及び社会増減影響度は下表のとおりです。

【図表 9-1】

将来人口における自然増減の影響度、社会増減の影響度
(三重県:市町名表示)

		自然増減の影響度(2040)					総計
		1	2	3	4	5	
社会増減の影響 (2040)	1	朝日町	亀山市,川越町,多気町,玉城町	四日市市,桑名市,鈴鹿市,菟野町,明和町	-	-	10
	2	-	御浜町	津市,松阪市,いなべ市,伊賀市,東員町,大台町	木曾岬町	1	8
	3	-	-	伊勢市,名張市,熊野市,志摩市,度会町,大紀町,紀北町,紀宝町	-	-	8
	4	-	-	尾鷲市,鳥羽市,南伊勢町	-	-	3
	5	-	-	-	-	-	0
	総計	1	5	22	1	-	29
		3.4%	17.2%	75.9%	3.4%	0.0%	

【図表 9-2】

将来人口における自然増減の影響度、社会増減の影響度
(三重県:数と比率で表示)

		自然増減の影響度(2040)					総計
		1	2	3	4	5	
社会増減の影響 (2040)	1	1 3.4%	4 13.8%	5 17.2%	- 0.0%	- 0.0%	10 34.5%
	2	- 0.0%	1 3.4%	6 20.7%	1 3.4%	- 0.0%	8 27.6%
	3	- 0.0%	- 0.0%	8 27.6%	- 0.0%	- 0.0%	8 27.6%
	4	- 0.0%	- 0.0%	3 10.3%	- 0.0%	- 0.0%	3 10.3%
	5	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	総計	1 3.4%	5 17.2%	22 75.9%	1 3.4%	- 0.0%	29 100.0%

10. 市町別5年前からの転入数・転出数・転入出超過数

○ 市町別における2005年から2010年までの転入数・県内外の主な転入元、転出数・県内外の主な転出元、転入出数・県内外の主な転入出超過先を見たのが次の表・グラフ・関係図です。

(1) 5年前からの転入数

【図表 10-1】(平成 22 年国勢調査人口移動集計)

*1: 5年前の常住地不詳を含む。
*2: 転入元の県内市町、県外都道府県不詳を含む。

	転入 総数 *1	転入元			主な転入元(県内)									主な転入元(県外)								
		県内 転入 数 *2	県外 転入 数 *2	国外 転入 数	1			2			3			1			2			3		
					市町	転入数	割合	市町	転入数	割合	市町	転入数	割合	都道府県	転入数	割合	都道府県	転入数	割合	都道府県	転入数	割合
四日市市	28,492	9,889	17,144	1,459	鈴鹿市	2,539	25.7	津市	1,305	13.2	桑名市	1,261	12.8	愛知県	3,545	20.7	神奈川県	1,429	8.3	大阪府	1,115	6.5
桑名市	15,130	5,162	9,192	776	四日市市	1,588	30.8	いなべ市	710	13.8	東員町	693	13.4	愛知県	3,822	41.6	岐阜県	705	7.7	東京都	604	6.6
鈴鹿市	19,199	8,594	9,293	1,312	四日市市	3,001	34.9	津市	2,115	24.6	龜山市	961	11.2	愛知県	1,867	20.1	大阪府	766	8.2	静岡県	606	6.5
龜山市	5,951	3,010	2,372	569	鈴鹿市	1,294	43.0	津市	577	19.2	四日市市	429	14.3	愛知県	363	15.3	大阪府	291	12.3	奈良県	264	11.1
いなべ市	4,937	2,180	2,346	411	四日市市	669	30.7	桑名市	574	26.3	東員町	268	12.3	愛知県	723	30.8	沖縄県	198	8.4	岐阜県	132	5.6
木曾岬町	813	228	456	129	桑名市	157	68.9	四日市市	30	13.2	川越町	9	3.9	愛知県	329	72.1	岐阜県	16	3.5	静岡県	10	2.2
東員町	2,735	1,672	890	173	桑名市	760	45.5	四日市市	373	22.3	いなべ市	311	18.6	愛知県	395	44.4	岐阜県	65	7.3	東京都	58	6.5
菰野町	4,357	2,901	1,270	186	四日市市	1,794	61.8	鈴鹿市	258	8.9	桑名市	208	7.2	愛知県	389	30.6	大阪府	100	7.9	岐阜県	67	5.3
朝日町	2,826	1,866	900	40	四日市市	771	40.9	桑名市	622	33.0	川越町	166	8.8	愛知県	536	59.6	大阪府	43	4.8	岐阜県	39	4.3
川越町	2,548	1,623	782	143	四日市市	734	45.2	桑名市	343	21.1	鈴鹿市	116	7.1	愛知県	292	37.3	岐阜県	55	7.0	神奈川県	48	6.1
津市	29,525	11,152	16,258	2,115	松阪市	2,464	22.1	鈴鹿市	2,422	21.7	四日市市	1,261	11.3	愛知県	4,228	26.0	大阪府	1,591	9.8	東京都	917	5.6
松阪市	14,951	7,916	6,168	867	津市	2,850	36.0	伊勢市	1,142	14.4	多気町	523	6.6	愛知県	1,463	23.7	大阪府	950	15.4	奈良県	486	7.9
多気町	1,596	1,081	453	62	松阪市	517	47.8	伊勢市	156	14.4	津市	78	7.2	奈良県	118	26.0	大阪府	76	16.8	愛知県	72	15.9
明和町	2,307	1,809	401	97	伊勢市	767	42.4	松阪市	499	27.6	津市	151	8.3	愛知県	85	21.2	大阪府	64	16.0	東京都	29	7.2
大台町	930	619	249	62	松阪市	140	22.6	大紀町	79	12.8	津市	70	11.3	愛知県	99	39.8	大阪府	34	13.7	京都府	21	8.4
伊勢市	9,940	5,018	4,517	405	志摩市	795	15.8	鳥羽市	713	14.2	松阪市	707	14.1	愛知県	936	20.7	大阪府	536	11.9	東京都	344	7.6
鳥羽市	1,552	820	659	73	伊勢市	300	36.6	志摩市	141	17.2	津市	83	10.1	愛知県	175	26.6	大阪府	88	13.4	兵庫県	36	5.5
志摩市	2,696	1,188	1,377	131	伊勢市	355	29.9	鳥羽市	146	12.3	津市	143	12.0	愛知県	375	27.2	大阪府	317	23.0	東京都	97	7.0
玉城町	1,758	1,340	293	125	伊勢市	678	50.6	松阪市	151	11.3	津市	93	6.9	愛知県	58	19.8	大阪府	37	12.6	東京都	24	8.2
度会町	590	481	82	27	伊勢市	204	42.4	南伊勢町	51	10.6	松阪市	45	9.4	愛知県	30	36.6	東京都	10	12.2	京都府	8	9.8
南伊勢町	612	319	247	46	伊勢市	80	25.1	志摩市	49	15.4	津市	44	13.8	愛知県	107	43.3	京都府	26	10.5	大阪府	25	10.1
大紀町	755	520	181	54	大台町	100	19.2	紀北町	76	14.6	松阪市	71	13.7	愛知県	66	36.5	大阪府	29	16.0	京都府	15	8.3
伊賀市	7,817	1,981	4,906	930	名張市	932	47.0	津市	327	16.5	四日市市	169	8.5	大阪府	925	18.9	愛知県	622	12.7	奈良県	574	11.7
名張市	6,686	2,101	4,326	259	伊賀市	1,301	61.9	津市	319	15.2	四日市市	98	4.7	大阪府	1,232	28.5	奈良県	954	22.1	愛知県	298	6.9
尾鷲市	1,658	833	788	37	紀北町	218	26.2	津市	156	18.7	熊野市	90	10.8	愛知県	244	31.0	大阪府	84	10.7	東京都	48	6.1
熊野市	1,989	793	1,154	42	御浜町	179	22.6	津市	131	16.5	尾鷲市	81	10.2	大阪府	212	18.4	和歌山県	201	17.4	愛知県	160	13.9
紀北町	1,310	486	623	201	尾鷲市	205	42.2	松阪市	49	10.1	津市	40	8.2	愛知県	169	27.1	大阪府	50	8.0	岐阜県	48	7.7
御浜町	982	500	475	7	熊野市	245	49.0	紀宝町	128	25.6	津市	33	6.6	和歌山県	134	28.2	大阪府	121	25.5	愛知県	69	14.5
紀宝町	1,032	321	692	19	熊野市	118	36.8	御浜町	93	29.0	津市	21	6.5	和歌山県	329	47.5	大阪府	138	19.9	愛知県	65	9.4

(2) 5年前からの転出数

【図表 10-2】(平成 22 年国勢調査人口移動集計)

*1: 国外への転出は含まない。

	転出 総数 *1	主な転出先(県内)									主な転出先(県外)										
		県内 転出数	県外 転出数	1			2			3			1			2			3		
				市町	転出数	割合	市町	転出数	割合	市町	転出数	割合	都道府県	転出数	割合	都道府県	転出数	割合	都道府県	転出数	割合
四日市市	27,620	11,902	15,718	鈴鹿市	3,001	25.2	菟野町	1,794	15.1	桑名市	1,588	13.3	愛知県	4,758	30.3	東京都	1,194	7.6	神奈川県	1,145	7.3
桑名市	12,855	5,112	7,743	四日市市	1,261	24.7	東員町	760	14.9	朝日町	622	12.2	愛知県	3,292	42.5	東京都	575	7.4	岐阜県	575	7.4
鈴鹿市	17,464	8,305	9,159	四日市市	2,539	30.6	津市	2,422	29.2	龜山市	1,294	15.6	愛知県	2,520	27.5	大阪府	781	8.5	東京都	651	7.1
龜山市	4,273	2,232	2,041	鈴鹿市	961	43.1	津市	558	25.0	四日市市	327	14.7	愛知県	486	23.8	大阪府	251	12.3	東京都	111	5.4
いなべ市	3,821	2,163	1,658	桑名市	710	32.8	四日市市	534	24.7	東員町	311	14.4	愛知県	728	43.9	岐阜県	95	5.7	東京都	88	5.3
木曾町	608	188	420	桑名市	116	61.7	四日市市	23	12.2	川越町	13	6.9	愛知県	338	80.5	岐阜県	15	3.6	大阪府	11	2.6
東員町	2,511	1,462	1,049	桑名市	693	47.4	いなべ市	268	18.3	四日市市	235	16.1	愛知県	493	47.0	東京都	87	8.3	大阪府	56	5.3
菟野町	3,012	1,897	1,115	四日市市	1,087	57.3	鈴鹿市	146	7.7	いなべ市	141	7.4	愛知県	401	36.0	岐阜県	75	6.7	東京都	69	6.2
朝日町	784	525	259	四日市市	164	31.2	桑名市	139	26.5	川越町	102	19.4	愛知県	91	35.1	東京都	25	9.7	神奈川県	19	7.3
川越町	1,812	1,256	556	四日市市	553	44.0	桑名市	265	21.1	朝日町	166	13.2	愛知県	222	39.9	岐阜県	42	7.6	東京都	33	5.9
津市	26,713	10,082	16,631	松阪市	2,850	28.3	鈴鹿市	2,115	21.0	四日市市	1,305	12.9	愛知県	4,853	29.2	大阪府	1,577	9.5	東京都	1,213	7.3
松阪市	13,141	6,728	6,413	津市	2,464	36.6	伊勢市	707	10.5	鈴鹿市	558	8.3	愛知県	2,061	32.1	大阪府	872	13.6	東京都	377	5.9
多気町	1,485	1,016	469	松阪市	523	51.5	津市	105	10.3	龜山市	74	7.3	愛知県	131	27.9	大阪府	109	23.2	奈良県	30	6.4
明和町	1,780	1,255	525	松阪市	400	31.9	伊勢市	329	26.2	津市	144	11.5	愛知県	184	35.0	大阪府	50	9.5	京都府	32	6.1
大台町	902	643	259	松阪市	237	36.9	大紀町	100	15.6	津市	87	13.5	愛知県	93	35.9	大阪府	34	13.1	岐阜県	20	7.7
伊勢市	11,325	5,721	5,604	松阪市	1,142	20.0	津市	929	16.2	明和町	767	13.4	愛知県	1,837	32.8	大阪府	580	10.3	東京都	415	7.4
鳥羽市	2,331	1,479	852	伊勢市	713	48.2	志摩市	146	9.9	松阪市	131	8.9	愛知県	337	39.6	大阪府	87	10.2	兵庫県	45	5.3
志摩市	4,147	2,245	1,902	伊勢市	795	35.4	津市	329	14.7	松阪市	261	11.6	愛知県	716	37.6	大阪府	268	14.1	東京都	124	6.5
玉城町	1,256	867	389	伊勢市	345	39.8	松阪市	159	18.3	津市	80	9.2	愛知県	148	38.0	大阪府	57	14.7	東京都	19	4.9
度会町	835	581	254	伊勢市	187	32.2	松阪市	98	16.9	志摩市	59	10.2	愛知県	102	40.2	大阪府	26	10.2	神奈川県	21	8.3
南伊勢町	1,355	1,028	327	伊勢市	367	35.7	松阪市	112	10.9	志摩市	107	10.4	愛知県	174	53.2	大阪府	37	11.3	岐阜県	13	4.0
大紀町	862	636	226	松阪市	213	33.5	大台町	79	12.4	津市	73	11.5	愛知県	90	39.8	大阪府	28	12.4	東京都	16	7.1
伊賀市	7,203	2,802	4,401	名張市	1,301	46.4	津市	544	19.4	鈴鹿市	228	8.1	大阪府	1,049	23.8	愛知県	647	14.7	奈良県	414	9.4
名張市	7,393	2,019	5,374	伊賀市	932	46.2	津市	413	20.5	鈴鹿市	133	6.6	大阪府	1,658	30.9	奈良県	855	15.9	愛知県	478	8.9
尾鷲市	2,168	1,199	969	津市	261	21.8	紀北町	205	17.1	松阪市	141	11.8	愛知県	455	47.0	大阪府	112	11.6	東京都	47	4.9
熊野市	2,099	1,008	1,091	御浜町	245	24.3	津市	191	18.9	紀宝町	118	11.7	愛知県	296	27.1	和歌山県	194	17.8	大阪府	167	15.3
紀北町	1,617	975	642	尾鷲市	218	22.4	津市	175	17.9	松阪市	155	15.9	愛知県	324	50.5	大阪府	67	10.4	京都府	30	4.7
御浜町	993	517	476	熊野市	179	34.6	紀宝町	93	18.0	津市	64	12.4	愛知県	139	29.2	和歌山県	114	23.9	大阪府	72	15.1
紀宝町	1,367	423	944	御浜町	128	30.3	熊野市	76	18.0	津市	68	16.1	和歌山県	461	48.8	愛知県	172	18.2	大阪府	109	11.5

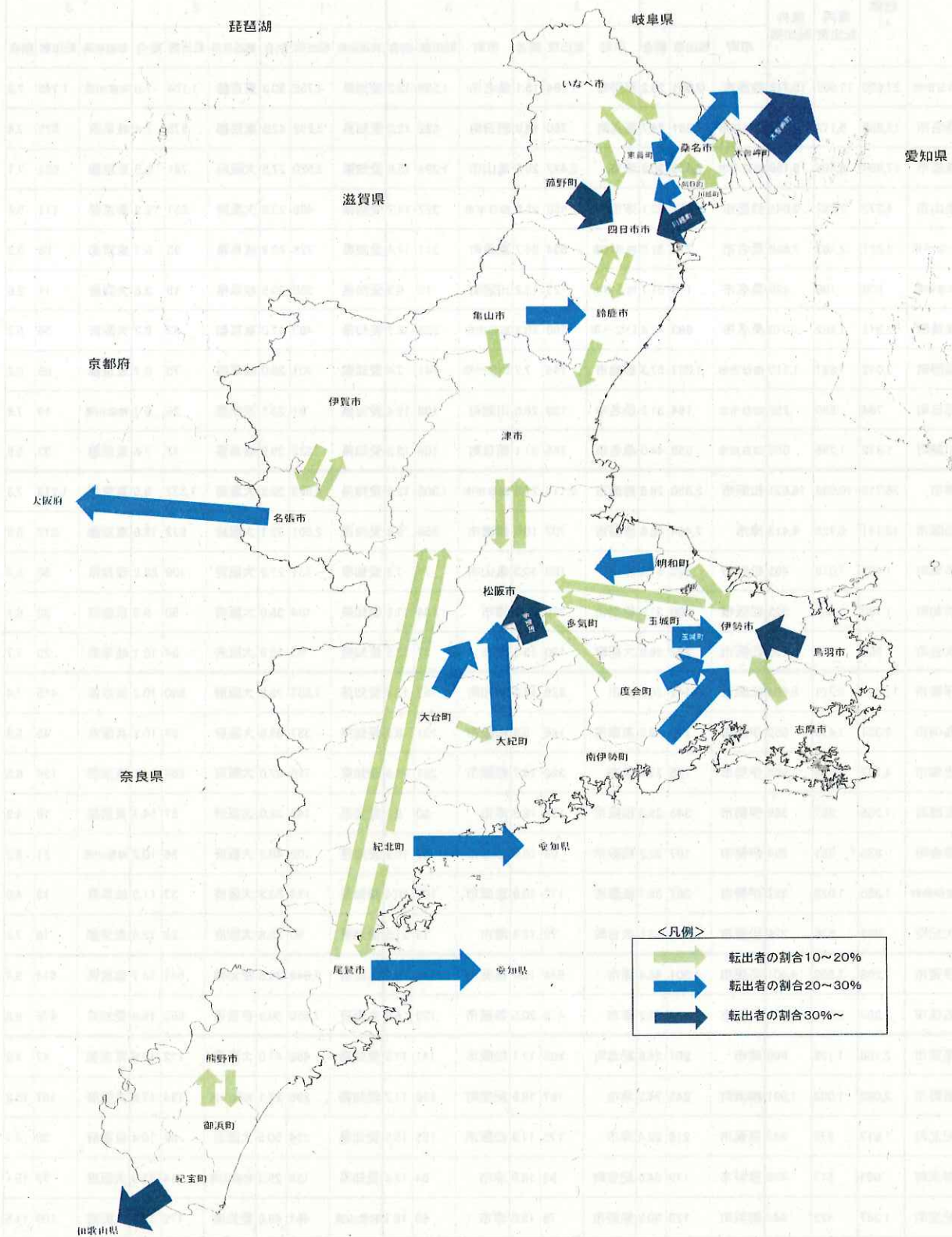
【図表 10-3】(平成 22 年国勢調査人口移動集計)

(表示内容)

「市町別5年前からの転出数」における当該市町の転出者総数に占める転出者の割合が10%以上(県外にあっては20%以上)のものを図示

※矢印の太いほど、転出者割合が高い

※10~20%、20~30%、30%以上の3段階で、矢印の色が濃いほど転出者の割合が高い



(3) 5年前からの転入出数

【図表 10-4】(平成 22 年国勢調査人口移動集計)

*1: 国外からの転入、国外への転出は含まない。
*2: 転入元の県内市町、県外都道府県不詳を含む。

	転入超過合計*1 県内転入超過数*2 県外転入超過数*2			主な転入出超過先(県内)								主な転入出超過先(県外)							
				転入超過				転出超過				転入超過				転出超過			
				1		2		1		2		1		2		1		2	
				市町	超過数	市町	超過数	市町	超過数	市町	超過数	都道府県	超過数	都道府県	超過数	都道府県	超過数	都道府県	超過数
四日市市	-587	-2,013	1,426	伊勢市	106	松阪市	101	菟野町	-707	朝日町	-607	岩手県	625	神奈川県	284	愛知県	-1,213	東京都	-198
桑名市	1,499	50	1,449	四日市市	327	いなべ市	136	朝日町	-483	川越町	-78	愛知県	530	兵庫県	193	京都府	-41	石川県	-35
鈴鹿市	423	289	134	四日市市	462	松阪市	181	亀山市	-333	津市	-307	広島県	213	静岡県	208	愛知県	-653	東京都	-140
亀山市	1,109	778	331	鈴鹿市	333	四日市市	102	川越町	-6	朝日町	-5	奈良県	213	広島県	129	愛知県	-123	東京都	-23
いなべ市	705	17	688	四日市市	135	松阪市	28	桑名市	-136	菟野町	-49	沖縄県	165	北海道	66	千葉県	-23	京都府	-22
木曾岬町	76	40	36	桑名市	41	四日市市	7	朝日町	-8	川越町	-4	長崎県	10	福井県	9	愛知県	-9	大阪府	-7
東員町	51	210	-159	四日市市	138	桑名市	67	鈴鹿市	-18	朝日町	-13	岐阜県	21	高知県	13	愛知県	-98	東京都	-29
菟野町	1,159	1,004	155	四日市市	707	鈴鹿市	112	亀山市	-12	朝日町	-8	大阪府	38	兵庫県	26	神奈川県	-14	愛知県	-12
朝日町	2,002	1,361	641	四日市市	607	桑名市	483	伊賀市	-3	大台町	-1	愛知県	445	岐阜県	33	長崎県	-18	埼玉県	-6
川越町	593	367	226	四日市市	181	桑名市	78	朝日町	-64	菟野町	-12	愛知県	70	神奈川県	28	埼玉県	-13	静岡県	-9
津市	697	1,070	-373	伊勢市	319	鈴鹿市	307	松阪市	-386	朝日町	-50	奈良県	263	岐阜県	203	愛知県	-625	東京都	-296
松阪市	943	1,188	-245	伊勢市	435	津市	386	鈴鹿市	-181	亀山市	-102	奈良県	203	岐阜県	182	愛知県	-598	神奈川県	-68
多気町	49	65	-16	伊勢市	90	大紀町	31	亀山市	-72	鈴鹿市	-36	奈良県	88	鳥取県	16	愛知県	-59	大阪府	-33
明和町	430	554	-124	伊勢市	438	松阪市	99	玉城町	-42	大台町	-17	大阪府	14	兵庫県	11	愛知県	-99	滋賀県	-19
大台町	-34	-24	-10	紀北町	30	伊勢市	23	松阪市	-97	多気町	-22	京都府	7	愛知県	6	岐阜県	-10	東京都	-8
伊勢市	-1,790	-703	-1,087	志摩市	440	鳥羽市	413	明和町	-438	松阪市	-435	福岡県	52	北海道	39	愛知県	-901	京都府	-110
鳥羽市	-852	-659	-193	南伊勢町	19	東員町	5	伊勢市	-413	松阪市	-66	香川県	8	埼玉県	7	愛知県	-162	京都府	-13
志摩市	-1,582	-1,057	-525	南伊勢町	58	度会町	24	伊勢市	-440	津市	-186	大阪府	49	奈良県	24	愛知県	-341	神奈川県	-37
玉城町	377	473	-96	伊勢市	333	志摩市	48	四日市市	-16	鈴鹿市	-15	静岡県	11	北海道	8	愛知県	-90	大阪府	-20
度会町	-272	-100	-172	南伊勢町	39	伊勢市	17	松阪市	-53	鈴鹿市	-29	東京都	2	愛媛県	2	愛知県	-72	大阪府	-22
南伊勢町	-789	-709	-80	伊賀市	3	尾鷲市	2	伊勢市	-287	松阪市	-78	京都府	18	滋賀県	6	愛知県	-67	大阪府	-12
大紀町	-161	-116	-45	紀北町	45	南伊勢町	27	松阪市	-142	多気町	-31	京都府	5	奈良県	3	愛知県	-24	滋賀県	-8
伊賀市	-316	-821	505	尾鷲市	7	いなべ市	6	名張市	-389	津市	-217	奈良県	160	神奈川県	75	大阪府	-124	京都府	-28
名張市	-966	82	-1,048	伊賀市	369	玉城町	5	津市	-94	鈴鹿市	-42	奈良県	99	和歌山県	19	大阪府	-426	愛知県	-180
尾鷲市	-547	-366	-181	紀北町	13	熊野市	9	津市	-105	松阪市	-78	青森県	14	千葉県	11	愛知県	-211	大阪府	-28
熊野市	-152	-215	63	紀北町	28	明和町	11	御浜町	-66	津市	-60	大阪府	45	奈良県	42	愛知県	-136	滋賀県	-11
紀北町	-508	-489	-19	御浜町	6	名張市	3	津市	-135	松阪市	-106	岐阜県	33	青森県	20	愛知県	-155	大阪府	-17
御浜町	-18	-17	-1	熊野市	66	紀宝町	35	津市	-31	伊勢市	-22	大阪府	49	和歌山県	20	愛知県	-70	岐阜県	-8
紀宝町	-354	-102	-252	熊野市	42	尾鷲市	11	津市	-47	御浜町	-35	大阪府	29	千葉県	9	和歌山県	-132	愛知県	-107

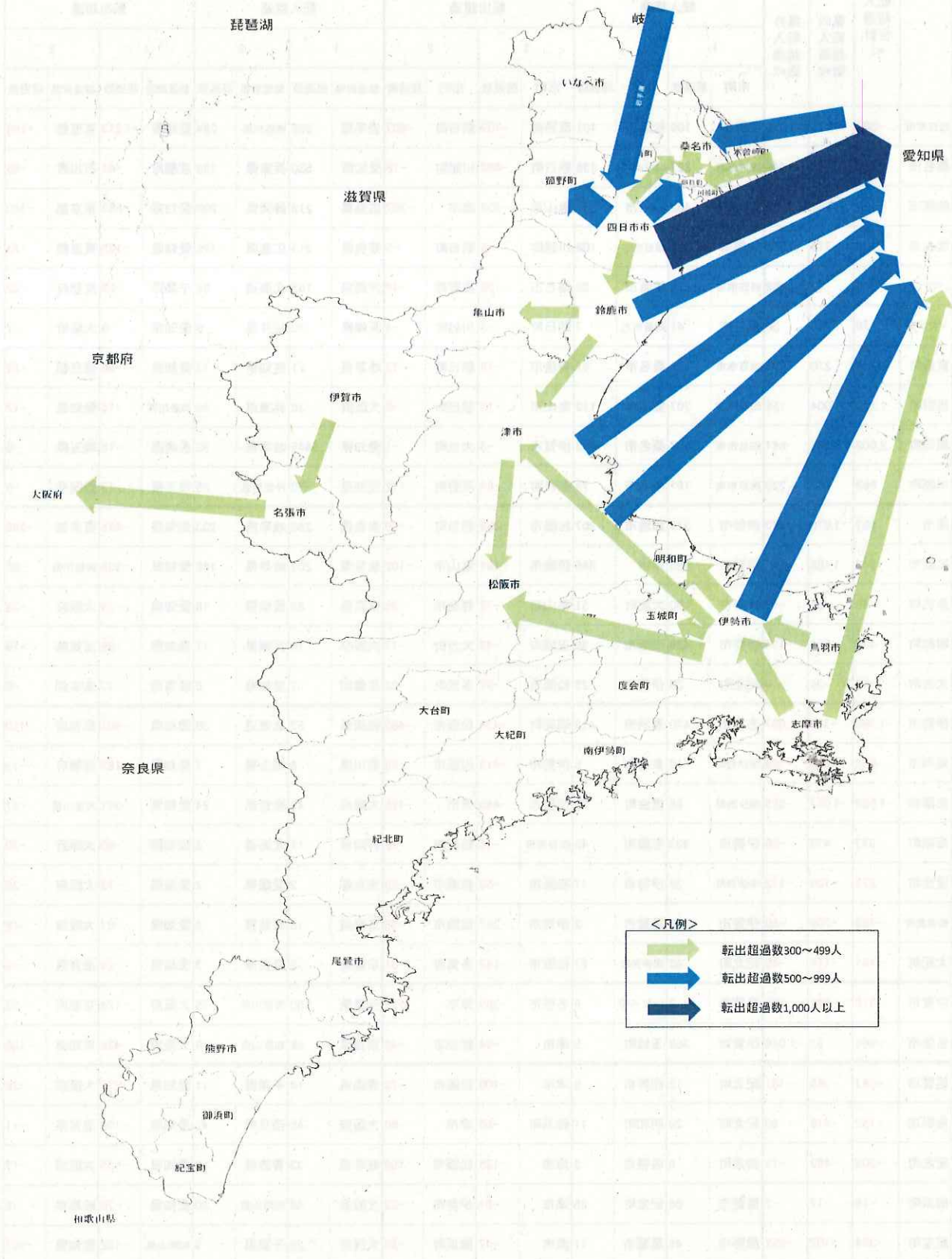
【図表 10-5】(平成 22 年国勢調査人口移動集計)

(表示内容)

「市町別5年前からの転出数－市町別5年前からの転入数」が300人以上のものを図示

※矢印が太いほど、転出数が多い

※「300人～499人」、「500人～999人」、「1,000人以上」の3段階で、矢印の色が濃いほど転出数が多い



○2005年から2010年における三重県内市町の県内各市町及び県外からの転入超過数(転入から転出を差し引いた値)の分布をみたのが次のグラフです。

【図表 10-6】(平成 22 年国勢調査人口移動集計)

三重県市町の5年前からの県内一県外転入超過数(平成22年)

※外国からの転入、外国への転出は含まない。

